

2020年度 論文検索ガイドンス

大阪大学附属図書館 外国学図書館

2020年度論文検索ガイドンスを始めます。
このガイドンスでは、これから卒業論文に取り組む3、4年生の皆さんに、
論文検索に役立つ情報を紹介します。

卒論への
第一歩を
踏み出す

文献の探し方を理解する

このガイダンスを通して、次の2つのことを達成しましょう。

1つ目は、卒業論文への第一歩を踏み出すこと。最初に何をすればいいのか悩んでいる人は、その状態から脱出しましょう。

2つ目は、図書や論文といった、様々な文献の探し方を理解すること。もう既に卒業論文にとりかかっている人にも役立つ情報を紹介していきます。

本日の内容

卒論のプロセスを把握する

プロセス①テーマを決める

プロセス②論点を決める

プロセス③論証（執筆）する

文献を探してみる

このガイダンスでは、5つの項目について説明します。
まずは卒業論文がどのような過程を経て完成するのかを概観します。今、自分はその過程の中でどの位置にいるかを把握しましょう。現在地が分かれば、次にすべきことが見えてきます。
そして、卒業論文のプロセスに沿って、図書や論文の探し方を詳しく紹介していきます。
最後に、卒業論文への一歩として、次に読むべき文献を自分自身の力で見つけ出しましょう。

卒論作成の プロセス

卒論のプロセスを把握する

プロセス①テーマを決める

プロセス②論点を決める

プロセス③論証する

文献を探してみる

1. 興味関心の赴くままに情報を得る

2. 卒論テーマを決める

3. テーマを深める情報を探す

4. 研究の論点を決める

5. 論証を補強する情報を集める

6. 論証（執筆）する

卒業論文の作成は、どのようなプロセスで進むのか見ていきましょう。最初に重要なのは、テーマを決めることです。これまでに勉強してきたこと、日々の生活の中で興味を持ったことなど、初めはぼんやりとしたもので良いので何かテーマを考えましょう。

次に、ぼんやりとしたテーマを論文という形にするために、知識を深める必要があります。これまでの研究から分かったこと、解決されていない問題点について、誰よりも詳しくなるつもりで調べます。その中で、卒業論文の題目としてふさわしい論点を見つけましょう。

論文の核となる論点が決まったら、裏付けとなる情報を集め、執筆していくこととなります。

論文作成は概ねこのようなプロセスで進みますが、情報を集める中でテーマの見直しが必要になったり、執筆しながら必要な情報を集めたりと、引き返すことや同時進行することもあります。行き詰まって悩んだ時には、指導教員に早めに相談しましょう。

また、「卒論テーマを決める」「研究の論点を決める」「論証、執筆する」という部分は、最終的に自分で頑張るしかないところですが、その準備段階となる「情報を探す」部分は、図書館が手助けしますので、ぜひ有効活用してください。

スケジュール管理をしましょう

大阪大学外国語学部卒業論文に関する規程

- 第5条 受講届を提出した学生は、1月20日までに所定の表紙を付した卒業論文を教務係に提出しなければならない。

夏休み明けに中間発表を行います！

Aゼミ

ゼミでの締切は年内なので、それまでに仕上げるように。

Bゼミ

中間発表までに
研究の論点を決めて、
資料収集を
進めておきたいな...

卒業論文には締切がありますので、スケジュール管理も大切です。外国語学部卒業論文に関する規程では、1月20日までに卒業論文を教務係に提出しなければならない、と定めています。所属するゼミによっては、中間発表があったり、ゼミ内で別途締切が設けられているケースもあるかもしれません。3、4年生になると就職活動や教育実習もあるため、さらに忙しくなると考えられます。締切から逆算して、いつまでに何をしておこう、と余裕をもって計画を立てましょう。

アイデアを 言語化する

卒論のプロセスを把握する

プロセス①テーマを決める

プロセス②論点を決める

プロセス③論証する

文献を探してみる

興味のあることについて、下記をポイントにキーワードを書き出してみましょう

- 分野（言語、文化、社会、文学、歴史、経済、政治など）
- 場所（国、地域）
- 時代（現代、近代、中世、古代）
- 対象（人物、動物、モノ）

では、プロセス①テーマを決める、について見ていきましょう。

ぼんやりとでも、興味のあることが思い浮かんでいますか？

そのアイデアを、まずは具体的な言葉にしましょう。

ポイントとなるのは、次のような概念です。

まずは、分野。言語に関することなのか、文化や社会に関することなのか、ここに挙がっている以外の分野なのかを考えます。

次に、場所や時代といった空間的、時間的な範囲。いくつかにまたがることもあれば、さらに狭い範囲のこともあるでしょう。

そして、研究対象。具体的な人物や集団、物質の他、制度や思想のように形のないものなど、様々です。

こうした点に注意して書き出してみると、キーワードを明確にできます。

キーワードがなかなか思いつかない方は、ひとまず分野、場所、時代をしばらくしましょう。

情報を探すためにはキーワードが重要になってくるので、今後図書や論文を読んだ際に、重要だと思うキーワードを見つけたらメモしておくのがおすすめです。

キーワードについて調べる

辞書を使って正確な知識を得ましょう

Japan Knowledge Lib 阪大契約

70以上の辞事典、叢書、雑誌が検索できる国内最大級の辞書・事典サイト（同時アクセス数4）

OED Oxford English Dictionary 阪大契約

11世紀半ばから現在までの英語の発生・変遷を歴史的に扱った英語辞典

外国学図書館 1階参考図書

(各分野の事典や語学辞書、百科事典)

↑
図書館Webサイト
参考図書紹介ページ

↑
外国学図書館が所蔵する
百科事典の一覧

書き出したキーワードについて、一度辞書を使って調べてみましょう。ここでは阪大で使えるオンライン辞書と紙の辞書を紹介します。

Japan Knowledge LibとOED Oxford English Dictionaryは阪大が契約しているオンライン辞書です。阪大の学内ネットワークで使える他、自宅からでもKOANのIDとパスワードで認証を経れば使うことができます。日本語のキーワードならJapan Knowledge Libを、英語ならOEDを使って調べましょう。他の専攻語の辞書や、分野ごとの専門用語は、紙の辞書を使って調べましょう。図書館Webサイトの参考図書紹介ページでは、各分野の専門辞典や、外国語学部の先生がおすすめる語学辞書を紹介しています。

また、外国学図書館1階参考図書コーナーには、百科事典も多く置いています。「言語学百科事典」「世界民族百科事典」「世界格差・貧困百科事典」など、テーマに近い百科事典があればキーワードで調べてみましょう。特にキーワードが思いつかない場合も、面白そうだと思う事典があれば、中身をめくってみると思わぬ発見があるかもしれません。

こうした辞書や百科事典には、項目を作成する時に参考にした文献が紹介されていることがあります。そこで紹介されている文献を読めば、キーワードについてさらに詳しく知ることができるでしょう。

【Japan Knowledge Lib】

<https://login.remote.library.osaka-u.ac.jp/login?url=https://japanknowledge.com/library/>

【OED Oxford English Dictionary】

<https://login.remote.library.osaka-u.ac.jp/login?url=http://www.oed.com/>

【各分野の事典や語学辞書】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/research_intro1/

卒論テーマを決めるための文献検索

▶ キーワードを使って文献を探しましょう



▶ 本（図書）を読む

- ▶ まとまった知識が得られる
- ▶ 書店で購入したり、図書館で借りたりできる

まずは阪大
OPACで本を
探しましょう



▶ 新聞を読む

- ▶ 最新情報が得られるが、短い記事の集合のため内容は断片的
- ▶ 外国学図書館1階新聞コーナーや、新聞データベースで読むことができる



▶ インターネットで検索

- ▶ 手軽で情報量が多いので最初のとっかかりを得るためには有効
- ▶ 信頼性のある情報以外は参考程度にするのが無難

卒業論文のテーマを決めるためには、いくつかキーワードを書き出して、辞書を引くだけでは不十分です。そこで、キーワードを念頭に置いて、様々な情報を得ていきましょう。

最初は、まとまった知識が得られる図書を読むのがおすすめです。この章では、阪大OPAC（オーパック）を使った図書の探し方を見ていきます。

また、内容は断片的になりますが、最新情報は新聞で得ることができます。キーワードを頭に置いておくと、情報が目につきやすくなるでしょう。新聞データベースについては、後の章で説明します。

インターネットでの検索は、辞書や新聞にもまだ掲載されていない、新しい言葉や概念についての手がかりを得るには有効でしょう。ただし、書かれている内容が信頼できるかどうかは、自分で見極める必要があります。

情報源にあたりたり、複数の情報を比較するなど、信頼性を見極めには時間がかかったり経験が必要だったりするので、出どころが曖昧な情報は取り入れない方が無難です。

その点、大学図書館に置いてある図書は、出版社での編集と出版、図書館での購入の可否判断をクリアしてきているため、信頼性は高いと言えるでしょう。

図書館で文献を探す 阪大OPACで本を探す

[大阪大学附属図書館Webサイト](#)



では、OPACという蔵書検索システムを使って図書館の文献を探していきましょう。

大阪大学附属図書館のWebサイトの蔵書検索タブでキーワードを入力し、検索します。

検索結果が多すぎる場合は、いくつかのキーワードを組み合わせで検索しましょう。

逆に少なすぎる場合、何もヒットしない場合は、キーワードを一般的な言葉や、より広い概念の言葉に変えて検索します。

他のキーワードが思いつかない場合は、辞書を調べたり、先生や図書館に相談しましょう。

【大阪大学附属図書館Webサイト】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/>

図書館で文献を探す 阪大OPACで本を探す

ようこそ ゲストさん

大阪大学附属図書館 Online Catalog

ヘルプ 入力補助 English

ログイン

TOP Webサービス 新着案内 タイトルリスト 附属図書館 大阪大学リポジトリ 大阪大学

検索結果一覧に戻る [1/4] 次の詳細画面 →

<図書>
ある近代日本文法研究史 / 仁田義雄著
アル キンダイ ニホン ブンボク ケンキュウシ
(研究叢書 ; 330)

出版者 大阪 : 和泉書院
出版年 2005.3
大きさ 266p ; 22cm
本文言語 日本語
書誌ID 2003642483
NCID BA71562434 CINI

CINIで詳細を確認
ツイート

この情報を出力する

印刷
メール送信
ファイル出力
EndNote Basic出力
Mendeley出力

このページのURL

所蔵情報を非表示

配架場所	巻次	請求記号	資料番号	状態	利用注記	コメント	ISBN	題年	予約/取寄	縮写/取寄	公費eDDS	隣の本
総合図-書庫		815 NIT	10501708902				4757603037		予約/取寄	縮写/取寄	公費eDDS	隣の本
文言語		815 NIT	10501712425	研究室			4757603037					
外国図-2階閲覧		815 433	90005501458				4757603037		予約/取寄	縮写/取寄	公費eDDS	隣の本

検索結果の一覧を見ていき、気になる図書の詳細画面を開いてみましょう。図書のタイトルや著者の名前といった情報と、その図書がどこにあるかという情報が書かれています。

この図書を読みたい、と思ったら、配架場所でのどの図書館のどのエリアにあるかということと、請求記号をメモして探しにいきます。

貸出中の場合は、予約しておくのと返却された時に優先的に借りることができます。

また、他のキャンパスの図書館にあって直接行くことが難しい場合は、外国学図書館に取り寄せることもできます。

図書館で文献を探す テーマで探す

The screenshot shows a library OPAC interface. At the top, there are search filters and a search bar. Below, a list of search results is displayed. A red box highlights the 'Item Name' (件名) field in the search results, which contains the following text:

件名 BSH:英語 -- 作文 [この組合せで検索](#)
 BSH:論文作法
 NDLSH:論文作法

An orange arrow points from this box to a callout box that says: 件名：テーマを表す言葉付いてないものもある (Item Name: Some items do not have words representing the theme).

The search results also show details for three books:

- 科学者のための文章読本 / Robert Barrass著 ; 富岡秀雄, 伊沢康司訳**
 東京 : 南江堂, 1983.4
 表紙ID=2003228019 NCID=BA32438322
 配架場所 巻次 請求記号 資料番号 状態
 総合部-A棟4階 学芸用図書 407||BAR 10300442729
- 論文の技法 / ハワード・S・ベッカー, バメラ・リチャーズ [著] ; 佐野敏行訳**
 東京 : 講談社, 1996.9. - (講談社学術文庫 ; [1248])
 表紙ID=2003178759 NCID=BN14983862
 配架場所 巻次 請求記号 資料番号 状態
 総合部-A棟2階 アカデミック・スキル・コーナー 089||GA||1248 20300030325
 人文学部 816.5||REC 10900602433
 理工学部-早稲2F文庫新書 K||K-1248 22400013425
- 卒論・ゼミ論の書き方 / 早稲田大学出版部編**
 新巻 - 東京 : 早稲田大学出版部, 1997.5
 表紙ID=2003240517 NCID=BA30602899
 配架場所 巻次 請求記号 資料番号 状態
 人間 816.5||WAS 10900148874

At the bottom, there is a link for 'レポートの作り方 : 情報収集からプレゼンテーションまで / 江下雅之著'.

阪大OPACには図書の内容、テーマで探す機能が2つありますので紹介します。

詳細画面の下の方に「件名（けんめい）」という項目があります。

これは、その図書の主なテーマを、一定のルールに基づいて言葉で表したものです。

中には件名が付いていない図書もありますが、件名がある場合は、リンクをクリックするとそのテーマに関連する図書を再検索できます。

検索したキーワードがタイトルに含まれていなくても、内容が関連するものを検索するための仕組みです。

図書館で文献を探す テーマで探す

隣の本：図書館の本棚をバーチャルで確認できる

外国回
-2階開
架 836||270 15100275658

書誌詳細を非表示

別書名 標題紙タイトル:Academic writing
異なりアクセスタイトル:英語論文の書き方：入門

一般注記 文献あり

著者標目 迫, 桂 <サコ, カツラ>
徳永, 聡子 <トクナガ, サトコ>

件名 BSH:英語 -- 作文 この組合せで検索
BSH:論文作法
NDLSH:論文作法

分類 NDC8:836.5
NDC9:836.5

巻冊次 ISBN:9784766419214 ; PRICE:200

隣の本

同じ分類番号の前後20冊ずつを表示しています【貸出状況は反映されていません】。

英語論文 717	ネイティブが教える英 語の読みとライテン グ / デビッド・セイ ン著	英語の表現 / 藤山 浩, 山田孝也著	英語論文の書き方入門 / 迫桂, 徳永聡子著	Advanced / Mary K. Colonna and Judith S. Gilbert	Developing academic writing skills / by Ros lyn Negeer ; Lesley H My
英語論文基礎表現717 836 270 1510023187 外国回-2階開架	836 270 15100241494 外国回-2階開架	836 270 15100275658 外国回-2階開架	836 270 15100296100 外国回-2階開架	836 272 15100297818 外国回-2階開架	836 272 15100297818 外国回-2階開架

もう一つのテーマで探す機能は、配架場所や請求記号が書かれている枠の右の方にあります。

「隣の本」というアイコンです。

これは、図書館の本棚をバーチャルで確認できる機能です。

図書館では、関係のあるテーマの図書が近くに並ぶよう分類、整理しているため、この機能を使うと、興味のある図書を見つけやすくなるでしょう。

引用文献（参考文献）から探す

1.論文を書く際の心得
 論文を書く時には心に留めておくべきことがあります。
 AAAによると、2つの心得があり、その具体例として...

2.論文の書き方
これについて、CCCは著書の中で次のように語っています。

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

つまり... ..

3.参考文献
 AAA著『●●●』
 BBB著『▲▲▲』
 CCC著『★★★』

論文の書き方について
 もっと詳しく
 知りたいから、
 CCC著『★★★』を
 読んでみよう

OPACで検索する以外にも、関連するテーマの資料の探し方として引用文献から探す方法があります。

OPACで見つれたり、先生が授業で紹介していた図書で気になるものをまず読んでみましょう。学術的な図書であれば、書くにあたって参考にした資料や、引用した情報、関連のある文献が紹介されています。そのような文献を参考文献や引用文献といいます。

これらの文献を芋づる式に読んでいくことで関連する資料を次々に見つけることができます。

引用文献は独特の形式で書かれているので、その形式に慣れて文献を探せるようになりましょう。

引用文献の読み解き方（和書）

仁田義雄 (2005) 『ある近代日本文法研究史』

↑
著者名

↑
出版年

↑
図書のタイトル

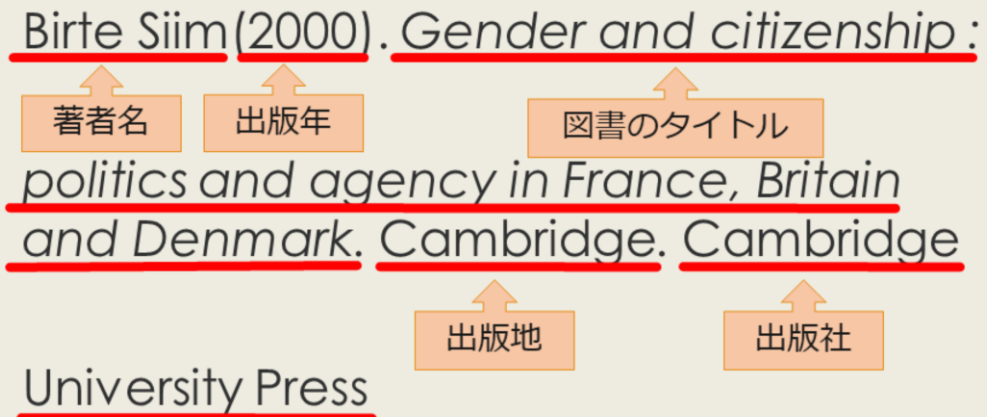
和泉書院

↑
出版社

これは、日本語の図書を引用文献の形式で書いた例です。引用文献として紹介する時には、資料を特定するための情報を漏れなく書く必要があります。読者がその文献を読みたいと思った時に、辿り着けるようにするためです。こうした資料を特定するための情報を、書誌（しょし）事項や書誌情報といいます。

では、ここに書かれている要素の中で、どれを使って阪大OPACを検索すればこの図書を探し出せるでしょうか。阪大OPACでは、著者名、図書のタイトル、出版社などのキーワードで検索できます。出版年を検索ボックスに入力すると、上手くヒットしないことがありますので注意しましょう。

引用文献の読み解き方（洋書）



これは、英語の図書を引用文献の形式で書いた例です。日本語とほぼ同じですが、外国の図書の場合は、出版社に加えて出版地も書かれることが多いです。こちらOPACで検索する時は、出版年以外の情報で検索するようにしましょう。

引用文献の読み解き方（日本語の論文）

遠藤織枝(2013) 「中国女文字・ハングル・

↑
著者名

↑
年次

↑
論文のタイトル

平仮名：その女性性を中心に」 『日本語

↑
雑誌のタイトル

学』 32(11): 64-79

↑
巻(号)

↑
ページ

引用文献や参考文献の中には、図書だけでなく論文が紹介されていることもあります。論文の書誌情報の読み解き方にも慣れておきましょう。

まずは日本語論文の例です。

図書と違うのは、論文のタイトルと雑誌のタイトルという2種類のタイトルが書かれていることです。この2つをしっかりと区別しましょう。

引用文献の形式は、文献を特定するための書誌情報を漏れなく書く、という大前提のもと、執筆者や出版元によって少しずつ異なっています。

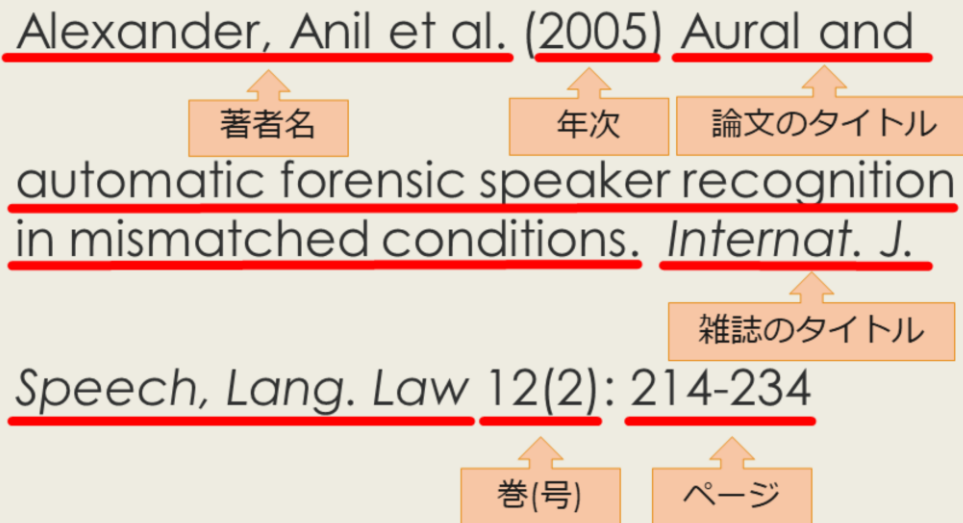
ただ、おおむね論文のタイトルは前に、雑誌のタイトルは後ろに書くのが一般的です。そして論文の場合は雑誌の何巻何号の何ページ目に掲載されているか、という情報までが必要になります。

では、OPACで検索する時はどの情報を使えば良いでしょうか。

1つ覚えておいてほしいのは、OPACでは論文の著者名や論文のタイトルでは検索できない、ということです。また、年次、巻号、ページでの検索もできません。

検索で使えるのは雑誌のタイトル、それから雑誌の出版社が分かっている場合は出版社名、となります。雑誌のタイトルだけでは検索結果が多くなりがちですので、絞り込み機能で雑誌に絞って検索するなど工夫しましょう。

引用文献の読み解き方（外国語の論文）



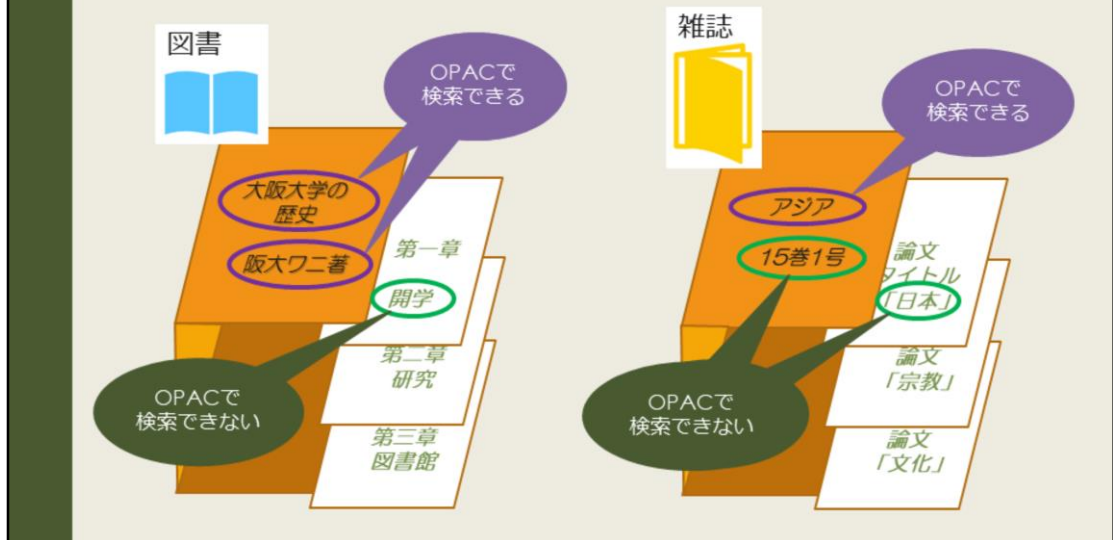
最後は外国語論文の例です。

こちらでも日本語論文とほぼ同じ情報ですが、著者が3人以上の場合に「他」を表す「et al.」が書かれたり、雑誌のタイトルが長い場合は省略形が使われるなど、慣れが必要かもしれません。

様々な論文を読んで、少しずつ慣れていきましょう。

阪大OPAC検索時の注意点

- 図書・雑誌のタイトルと、論文・記事のタイトルを区別しましょう
- OPACでは、論文のタイトルでの検索はできません



OPACで検索する時の注意点をおさらいします。

探そうとしている文献が、1冊の図書なのか、雑誌に掲載された論文なのかをまず把握しましょう。

その上で、図書の場合はタイトルや著者名で検索し、雑誌論文の場合は雑誌のタイトルで検索するようにしましょう。

また、阪大OPACでは、阪大の図書館に所蔵していない資料はそもそも検索できません。

検索してもヒットしなかったり、自分の検索に自信がなかったりしたら、一緒に考えますので、気軽に図書館へ相談してください。

図書館で文献を探す 阪大OPACで雑誌を探す

<雑誌>
日本語学 / 明治書院 [編]
二ホンゴガク

巻次年月次 1巻1号 (1982.11)-

出版者 東京：明治書院

出版年 1982-

大きさ 冊；21cm

本文言語 日本語

雑誌ID 3001076715

NCID AN00007073 [Cinii]

この情報を出力する

印刷
メール送信
ファイル出力
EndNote Basic出力
Mendeley出力

このページのURL
https://opac.library.osaka-u.ac.jp/... コピー

他の検索ツールで確認

Cinii Books
Webcat Plus
Cinii Articles
Google
Google Scholar

所蔵情報を非表示

所蔵巻号をクリックすると、詳細が印刷できます。

配架場所	所蔵巻号	年次	請求記号	コメント	複写取寄	公開eDOS
総合図	1-36,37(1-8)+	1982-2018		「所蔵巻号」に記載があり、かつリンク先の「所蔵詳細」に表示されない巻号は、本館本のままA棟5階に配架されています。		
文英語	8-24,25(1-9)	1989-2006				
文日語	1-3,4(1-4,9-12),5-9,10(1-4,8-12),11-12,13(1-9),14(1-5,7,9-13),15(1-7,9-10,12-13),16(1-7,9-13),17(1-10,12-14),18-24,25(1-9)	1982-2006				
文英	37(9-13),38(1-2)+	2018-2019				
日英語	15(1-2)	1996-1996				
言語学類	9(4-12),10,11(1-5,7-13),12-16,17(1-4)	1990-1998				
英英語(利用不可)	7(5-13),8-10,11(1-5,7-13),12-34,35(1-3)	1988-2016				
英日語(利用不可)	7(5-13),8-10,11(1-5,7-13),12-37,38(1-2)+	1988-2019				
英大字體	10(3-12),11(1-5,7-13),12-37,38(1-2)+	1991-2019				
外国図	1-13,14(1-7,9-13),15-16,17(1-10,12-14),18(1-5,7-12,14),19-37,38(1-2)+	1996-2019				

雑誌論文を読むために、OPACで雑誌を検索してみましょう。

雑誌を探すために必要な情報は、配架場所と所蔵巻号の欄に書かれています。読みたい論文が載っている巻号は、どこで所蔵しているか、確認しましょう。外国学図書館にある雑誌は、最新号以外は1週間の貸出が可能です。ただ、図書と違い、雑誌は他キャンパスから取り寄せることができません。読みたい論文が決まっている場合は、有料ですが論文のコピーを取り寄せることができます。

雑誌をまるまる読みたい、という場合は、それぞれの図書館に直接行けば、読むことができます。

雑誌はそもそも貸出できなかつたり、一時持ち出ししかできなかつたりするので、基本的には必要な論文をコピーしてすぐ返却する、という使い方になります。

図書館で文献を探す 阪大OPACで電子リソースを使う

電子ブック

電子ジャーナル

電子ジャーナル

電子ジャーナル

ツイート

この情報を出力する

- 印刷
- メール送信
- ファイル出力
- EndNote Basic出力
- Mendeley出力

このページのURL

<電子ジャーナル>
Journal of linguistics

出版者 UNITED STATES : Cambridge University Press

本文言語 英語

書誌ID OJ00059173

冊子体 Journal of linguistics / Linguistics Association of Great Britain

所蔵情報を非表示

所蔵巻号一覧

見る	巻号	配架場所	年次/刊行日	受入日	資料番号	請求
eJournal	Available from 1997.	オンライン資料			EJ000079598	
eJournal	Available from 2001. Most recent 1 year(s) not available.	オンライン資料			EJ000071920	

OPACで検索していると、「e」マークの資料がヒットすることがあります。これはオンラインで使える資料であることを表していて、電子ジャーナルや電子ブックと呼んでいます。それぞれ資料へのリンクがついているので、すぐに読むことができます。

電子ジャーナルの場合は、創刊号から最新号まで全部が見られるとは限らないので、巻号欄の利用可能な範囲を確認するようにしましょう。

阪大の学内ネットワークでアクセスすると、阪大が契約している電子資料の全てを使うことができますが、一部の資料は、KOANのIDで認証を経れば、自宅からも利用できます。

電子ジャーナル（電子ブック）の 利用上のルール

禁止事項

- Systematic Download
- 全文データ（PDF等）の複製、再配布
- 全文データを研究や教育以外の目的
で使うこと

図書館で資料を借りる時は、汚したり破いたりしないように気をつけたり、著作権法などのルールを守って使うのと同じように、電子ジャーナルや電子ブックの利用にも出版社との取り決めで定められたルールがあります。ここに挙げた、禁止事項となる行為はしないよう、注意しましょう。

Systematic Downloadとは、自動ダウンロードソフト等を利用して、あるいは手動で、大量のファイルを短時間にダウンロードすることです。短い時間で論文をやみくもにダウンロードすることは控えましょう。

また、有料・無料に関係なく、ダウンロードした全文データをコピーして他人にあげたりしないようにしましょう。

違反があった場合は、違反者だけでなく、大阪大学全体で電子資料の利用が停止される可能性があります。

図書館は自宅学習をサポートします



電子ブック

- 「中国語」「中国」など、専攻語のキーワードで検索
- e-Bookで多読 (多読資料専用ページ)



パスファインダー

- 「卒業論文にとりかかる」「研究テーマのを見つけ方 (日本語教育編)」など

ここでは、自宅学習に役立つツールを紹介します。

電子ブックは、インターネットに接続したパソコン、スマートフォンなどで閲覧できる図書で、阪大では2020年5月時点で、34,670冊の電子ブックが利用できます。紙の図書約400万冊と比べると少ないので、キーワードは絞り込み過ぎない方がよいでしょう。

また、OPACの詳細検索画面で、資料タイプの「電子ブック」にチェックを入れて検索すると、すべての電子ブックが検索結果に出きます。検索結果から絞り込んでいく方が、効率が良い場合があります。

「e-Bookで多読」ページでは、英語学習のための多読用電子ブックをまとめています。

電子ブックは、同時アクセス数、つまり一度に同じ資料にアクセスできる人数が限られています。利用が終わったら、忘れずにログアウトしましょう。また、「同時アクセス数に達しています」といったエラーが出た場合は、時間を置いて試してみてください。

パスファインダーは、阪大図書館のラーニング・サポーターが作成した学習・研究に役立つ小冊子で、Webサイトから自由にダウンロードすることができます。ここで挙げたテーマ以外にも、様々な情報があります。

【電子ブック】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/ebook/>

【e-Bookで多読】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/e-tadoku/>

【パスファインダー】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/pathfinder/>

図書館は自宅学習をサポートします



大阪大学学術情報庫OUKA

- 言語文化研究科の紀要
- 本文が見られる言語文化研究科の過去の博士論文
- 阪大生のためのアカデミック・ライティング入門

附属図書館では、大阪大学の研究成果を電子的に保管し、公開するサービスを行っています。それを、大阪大学学術情報庫OUKA（おうか）と名付け、OUKAで、大阪大学の紀要や博士論文を無料で公開しています。

研究テーマに関する論文を検索するだけでなく、論文とはどんな体裁で書くのかを知る手がかりにもなります。

このスライドでは、OUKAで閲覧できる3つの文献へのリンクを用意しました。

ひとつは、大学院生が所属する言語文化研究科の紀要、つぎに、インターネット上で本文が読める言語文化研究科の過去の博士論文、最後は、阪大生のためのアカデミック・ライティング入門 です。

クリックして、自宅学習にもご活用ください。

【大阪大学学術情報庫OUKA】

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/?lang=0>

【言語文化研究科の紀要】

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/cate_browser/?lang=0&codeno=journal&schemaid=3000&catecode=200080

【本文が見られる言語文化研究科の過去の博士論文】

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/thesis/search/100002011/?lang=0&cate_schema=1000&mode=0&codeno=cate_mtcd

【阪大生のためのアカデミック・ライティング入門】

<http://hdl.handle.net/11094/71454>

演習①OPAC検索



- 問題.
- 下記の論文を、どのようにすれば読むことができるでしょうか。
[阪大OPAC](#)を使って検索してください。
- Parrill, Fey et al. (2018) The Relationship between Character Viewpoint Gesture and Narrative Structure in Children. *Language and Cognition* 10(3):408–434.

それでは、ここで、演習①にチャレンジしてみましょう。

こちらの論文を、どのようにすれば読むことができるでしょうか。阪大OPACを使って検索してください。
問題が解けたら、次の解説に進みましょう。

【阪大OPAC】

<https://opac.library.osaka-u.ac.jp/>

演習①OPAC検索 解説①



- 著者名
年次
論文のタイトル
- 巻(号) : ページ
雑誌のタイトル

■ Parrill, Fey et al. (2018) The Relationship between Character Viewpoint Gesture and Narrative Structure in Children. Language and Cognition 10(3):408-434.

- 雑誌のタイトル"Language and Cognition"を検索



- 利用可能範囲を確認し、「eJournal」アイコンをクリック



- All issuesのVolume 10 - Issue 3 - September 2018にあります



まず、問題に挙げられている文献の情報を正確に読み取りましょう。
この文献の著者はFey Parrillで、"The Relationship between Character Viewpoint Gesture and Narrative Structure in Children"という一区切りのタイトルの後に、イタリック体で"Language and Cognition"とあります。タイトルが2つあり、後ろの数字は巻号、ページを表していると考えられるので、これは論文のようだと分かります。

論文を探す場合、OPACでは雑誌のタイトルで検索する必要がありましたね。雑誌のタイトル"Language and Cognition"で検索しましょう。

電子ジャーナルがヒットするので詳細画面を開きます。

巻号欄を見ると、"Available from 2009."とあります。

この論文は2018年のものなので、利用可能な範囲に含まれることが確認できました。

「eJournal」のアイコンをクリックします。

自宅など、学外から使っている場合はログイン画面が出るので、KOANのIDとパスワードでログインしましょう。

その先は、電子ジャーナルを提供している"Cambridge University Press"のサイトです。

"Latest issue"最新号や、"All issues"すべての巻号、といった文字が見つかりましたか？

"All issues"をクリックし、年や、Vol、Issueといった巻号を頼りに論文を探しましょう。

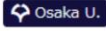
課題の論文は、Volume 10 - Issue 3 - September 2018の2番目にあります。PDFのリンクをクリックすると、本文を読むことができます。



演習①OPAC検索 解説②




- 著者名 年次 論文のタイトル

■ Parrill, Fey et al. (2018) The Relationship between Character Viewpoint Gesture and Narrative Structure in Children. Language and Cognition 10(3):408-434.

雑誌のタイトル 巻(号) : ページ
- 雑誌のタイトル" Language and Cognition "を検索
- 電子ジャーナルの詳細画面で  のアイコンをクリック


- 年、巻、号、開始頁を入力し  をクリック


- ダイレクトに論文ページへリンクします

もう一つのたどり着き方も紹介します。

電子ジャーナルの詳細画面で「電子版が見つかりました。Osaka U.」というアイコンをクリックすると、年や巻号、開始ページを入力する画面が出ます。ここに情報を入力しGOを押すとダイレクトに論文のページへ飛ぶことができます。

テーマを深め 論点を決める

卒論のプロセスを把握する

プロセス①テーマを決める

プロセス②論点を決める

プロセス③論証する

文献を探してみる

論文とは何か？

- 事実やデータに基づいた、自分なりの意見を述べたもの
- × 事実をまとめただけの報告書
- × 個人的な感想文

自分なりの意見を「問い」と「答え」の形にしてみましょう

図書・論文を読んでテーマに関する知識を深め、「問い」を見つけましょう

分野、場所、対象、時間などの、おおよそのテーマが決まったら、卒業論文の最も重要な論点（明らかにしたいこと、問いと答え）を決めていきましょう。

論文とは「事実をまとめた報告書」ではなく、「個人的な意見を述べた感想文」でもありません。

論文には「事実やデータ」に基づいた「オリジナルの、あるいは新しい視点の意見」が必要です。この「意見」をどう設定するかによって、集めるべき事実やデータは変わってきます。

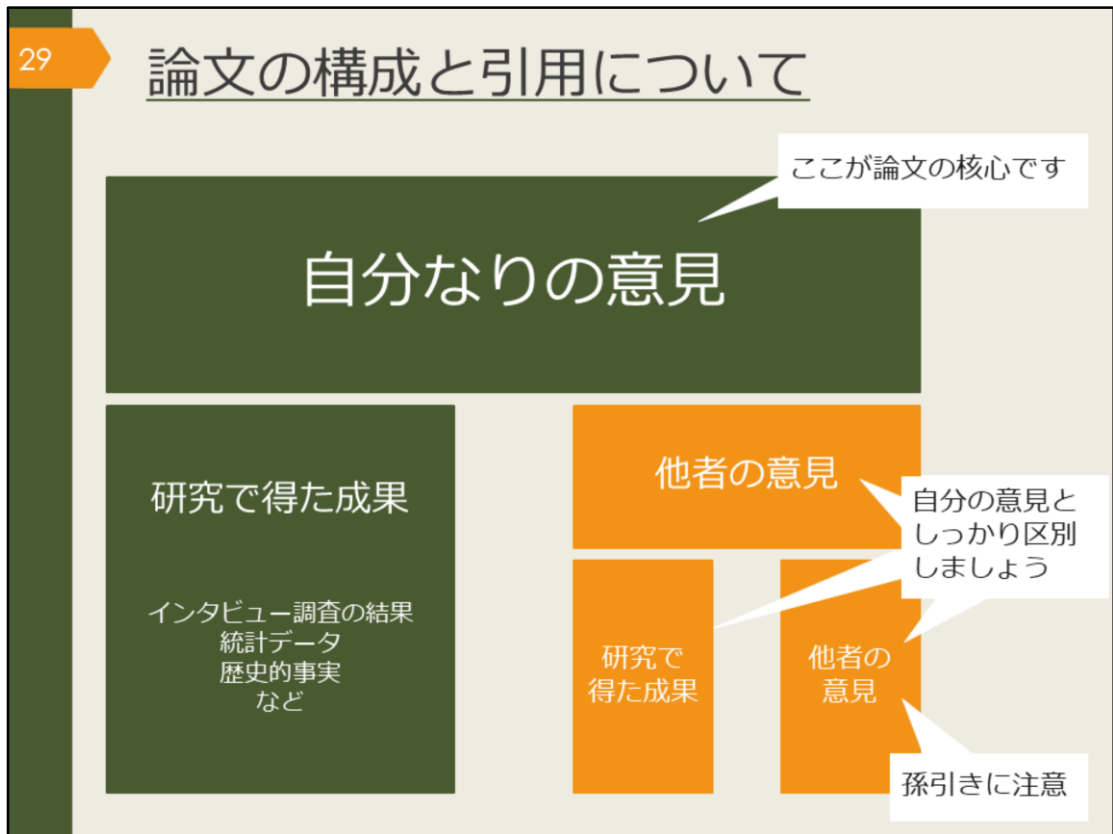
もちろん、事実やデータを集める中で、意見が変わってくる可能性はありますが、初めに、ある程度の見通しを立てることは大事です。

見通しを立てる方法としては、「問いと答え」で考えるのがよいでしょう。テーマの中で、明らかになっていない疑問点を「問い」にして、それに対する自分なりの答えを仮説として定めましょう。これが研究の論点になります。ただ、いきなり論点を決めなさいと言われても、なかなか思いつかないでしょう。疑問に思うことがあっても、それは既に過去の研究で答えが見つかっている内容かもしれません。

卒業論文の論点を決めるには、まず、これまでの研究で明らかになったことを知っておく必要があります。この章では主に、過去の研究成果、先行研究を調べる方法を紹介していきます。

卒業論文では、世紀の大発見をしなければならないわけではありません。過去の研究で明らかになったことについて、対象や範囲を変えて論じ直してみたり、別の視点で捉え直してみたりすることも、新しい知見になるでしょう。常に疑問点を見つけることを意識しながら、先行研究を読んだり、情報収集したりしていきましょう。

論文の構成と引用について



これは、論文の構成を図で示したものです。

自分なりの意見が論文の核心となり、その柱として、自分の研究成果や、他者の意見などがあります。

自分の研究成果がないと単なる感想文になりますし、成果のみ述べるだけなら報告書になります。

また、他者の意見は、自分の意見とはしっかり区別して書かなければいけません。自分の論文で言及する場合は「引用」という形をとりましょう。

引用とは、自分の意見を裏付けたり、説明したりするために出所をはっきりさせて他の人の文章を紹介することです。自分の意見と他者の意見の境界をあいまいにすると「盗用」や「剽窃」という不正行為になります。他者の意見を尊重する姿勢を持ちましょう。

自分の意見と他者の意見が同じ、という場合は、なぜそのような結論に至ったのかを自分の言葉で説明しましょう。自分の独自の研究で得た成果により、他者の意見が更に補強されることになった、というのも立派な研究です。

また、孫引きにも注意しましょう。

他者の意見もまた、その人自身の研究成果や、別の人意見に基づいています。他者の論文で引用されている別の人意見、そのまま引用することを「孫引き」と言います。

昔は手書きで論文を引用していたため、単純な写し間違いがあるかもしれませんが、自分の主張にとって都合のよい部分のみを引用するなど、元の論文の意図とは異なっている場合もあるかもしれません。

他者の引用をうのみにせず、できる限り元の論文に当たるようにしましょう。

テーマを深めるための文献検索



論文を読む

- ▶ 先行研究から最新の知見が得られる
- ▶ 引用文献や論文データベースで調べる



過去の新聞を読む

- ▶ 最新情報や、歴史的な変遷を知ることができる
- ▶ 新聞データベースで調べる

CINii Articlesという
論文データベースと、
阪大で使える新聞
データベースを紹介
します

テーマに関する知識を深めるにはどうすればよいでしょうか。

引き続き、OPACや引用文献で図書を探すのも有効です。テーマを決めるために色々と調べたことで、最初よりもキーワードが洗練されてきているはずですし、読んだ文献も多いでしょうから、違った視点で図書を見つけられるかもしれません。

ここでは、さらに、最新の知見を得たり、独自の切り口の研究を見つけるために、研究論文を探す方法を紹介します。

その方法の一つがCiNii Articlesなどの論文データベースの検索です。

また、新しい情報やある事柄についての歴史的な変遷を知るために、新聞記事を探す方法もあります。最新のものはネットニュースで見られますが、過去のものは有料のことが多いので、阪大契約の新聞データベースで検索できることを覚えておきましょう。

論文データベースで文献を探す 日本語の論文を探す

▶ CiNii Articlesについて

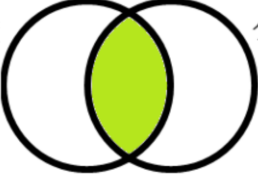
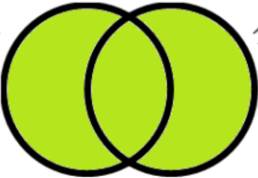
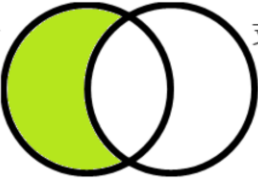
- ▶ 日本語の学術論文を探ることができる
- ▶ 一部の論文はインターネット上で本文を読むことができる



The screenshot shows the CiNii Articles search interface. At the top, the CiNii logo is displayed with the tagline '日本の論文をさがす Articles'. Below the logo, there are three tabs: '論文検索' (Article search), '著者検索' (Author search), and '全文検索' (Full text search). The '論文検索' tab is active. The search bar contains the text 'フリーワード' (Free word) and a '検索' (Search) button. Below the search bar, there are two buttons: 'すべて' (All) and '本文あり' (Full text available), and a '閉じる' (Close) button. The search criteria section includes fields for 'タイトル' (Title), '著者名' (Author name), '著者ID' (Author ID), '著者所属' (Author affiliation), '刊行物名' (Publication name), 'ISSN', '巻号ページ' (Volume/Issue/Page), '巻' (Volume), '号(通号)' (Issue/Serial number), and 'ページ' (Page).

CiNii Articlesは日本語の論文を探すためのデータベースです。
これまでに集めたキーワードを組み合わせて検索してみましよう。
自分が知りたいことが書かれている論文は、タイトルや論文の要旨にどんな言葉が使われるだろうかと想像しながら検索するのがコツです。

キーワードの組み合わせ

高校		クラブ活動	★高校のクラブ活動について調べたい 「高校 クラブ活動」 どちらも含むものを検索
部活		クラブ活動	★クラブ活動は部活と表記されているかも 「部活 OR クラブ活動」 どちらかを含むものを検索
部活		支部活動	★関係ないものがヒットしてしまう 支部活動に関するものを除きたい 「部活 NOT 支部活動」 NOTの後のキーワードを除いて検索

CiNii Articlesを含むほとんどのデータベースでは、キーワードを組み合わせで検索することができます。

AND検索は、スペースでつないだキーワード全てを含むものを検索します。

阪大OPACやGoogle検索でも皆さんがよく使う方法です。

OR検索は、ORでつないだキーワードのいずれかを含むものを検索します。

検索結果は、AND検索よりも多くなります。

NOT検索は、NOTの直後のキーワードを除いて検索する方法です。

たとえば、漢字とカタカナなどの表記の揺れがあったり、同じ概念の言葉が複数考えられるなど、一つのキーワードでは検索結果が少ない場合はOR検索をした方がよいでしょう。

まったく関係のない言葉で論文がヒットしてしまうなど、検索結果が多い場合はAND検索やNOT検索で検索結果を減らすことを考えてみましょう。

CiNii Articlesのアクセス方法 (学内で使う場合)

大阪大学附属図書館Webサイト

The screenshot shows the search interface of the Osaka University Library website. At the top, there is a 'クイックサーチ' (Quick Search) section with navigation tabs for '蔵書検索' (Book Search), '電子ジャーナル' (Electronic Journals), '電子ブック' (Electronic Books), 'データベース' (Database), and 'まとめて検索' (Search All). The 'データベース' tab is circled in red. Below this, there are three dropdown menus: 'よく使われるタイトル' (Popular Titles), '主題分野から探す' (Search by Subject Area), and '資料タイプから探す' (Search by Document Type). The 'よく使われるタイトル' dropdown is also circled in red, and a blue arrow points from the circled 'データベース' tab to it. A dropdown menu is open under 'よく使われるタイトル', listing various databases: CiNii, Scopus, Web of Science, ProQuest Research Library, 日経テレコン, 知蔵IIビジュアル, 毎日新聞 マイ索, 読売新聞 ヨミダス歴史館, Press Reader, JapanKnowledge Lib, and KOD. To the right, there is a 'CiNii Articles' search box with the text '日本の論文をさがす' (Find Japanese articles). Below the search box, there are tabs for '論文検索' (Article Search), '著者検索' (Author Search), and '全文検索' (Full Text Search). A search input field contains 'フリーワード', and there are buttons for '検索' (Search), 'すべて' (All), '本文あり' (Full Text Available), and '詳細検索' (Advanced Search).

CiNii Articlesへのアクセス方法は、附属図書館Webサイトから、図のようにしてアクセスできます。

CiNii Articlesのアクセス方法 (自宅で使う場合)

大阪大学附属図書館Webサイト

OSAKA UNIVERSITY LIBRARY

English 検索のキーワードを入力

このページの印刷画面を開く

さがす しらべる つかう お知らせ 4 つの図書館 Webサービス

キャンパス外から電子リソースを使う

自宅や出張先など大学の外から大阪大学が契約している電子ジャーナル、電子ブック、データベースが利用できます。キャンパス内からご利用の場合は、図書館トップページの「電子ジャーナル」「データベース」各タブからご利用ください。

電子ジャーナル・電子ブックへのアクセス

データベースへのアクセス

以下のリンクから大阪大学個人IDによる認証を経てアクセスすることができます。

- ACM Digital Library
- AnthroSource
- CINAHL Plus
- CiNii Articles
- Cochrane Library
- EconLit
- Eighteenth Century Collect
- ERIC
- Essential Science Indicator
- Financial Times Historical
- Health & Medical Collectio
- House of Commons Parliar
- Index to Legal Periodicals
- International Bibliography
- JapanKnowledge Lib

自宅からCiNii Articlesを検索する場合は、附属図書館Webサイトの「キャンパス外から電子リソースを使う」というページからアクセスしてください。データベースの便利な機能を学内と同じように、自宅でも使えます。CiNii Articlesは無料のデータベースですが、大阪大学と連携して、検索結果から阪大で契約するデータベースにリンクしたり、阪大OPACにリンクするなどの便利な機能をつけています。大学のネットワークであればそのまま使用できますが、自宅から便利な機能を使用するには、この方法でアクセスする必要があります。便利な機能については、あとのスライドで説明します。

CiNii Articles 検索結果一覧画面

論文検索 著者検索 全文検索

イギリス クリケット

検索

すべて 本文あり

↑ 閉じる

タイトル

著者名 著者ID 著者所属

刊行物名

出版者

入力したキーワードが、論文名、著者名、収録雑誌名、抄録のどこかにあれば、検索結果として表示される

論文名 検索結果： 4件中 1-4 を表示

すべて選択： 新しいウィンドウで開く 実行

20件ずつ表示 出版年：新しい順 表示

著者名 クリケット ピッチを超えた友好：『ラガン』にみる植民地独立後のガンジーの理想とした「インド」

抄録（内容の簡単なまとめ） Cross Robert, クロス ロバート

論文(article)アカデミー賞にノミネートされたハリウッド映画『ラガン』(2001)は、19世紀末、植民者のイギリス人と被植民者のインド人との間で行われるクリケットの試合を軸に、ガンジーの理想とした異教徒間の調和を掲げる「インド」が、一人のインド人青年によって建設されていくドラマを描いている。

掲載誌の情報 (=書誌情報) 言語文化 = Doshisha Studies in Language and Culture 11(4), 493-514, 2009-03-10

機関リポジトリ DOI 大阪大学リゾルバ 大阪大学OPAC

本文入手へのナビゲーター

イギリス、クリケットというキーワードで検索した、検索結果一覧画面です。検索結果に、論文名、著者名、抄録、掲載誌の情報、本文入手へのナビゲーターが表示されます。

CiNii Articles 検索結果詳細画面

The screenshot shows the following elements and their corresponding callouts:

- 論文名** (Title): ヤミナ・ベンギギの映像作品とテキスト：フランスにおけるマグレブ移民の母たちと娘たち / The Films and Books of Yamina Benguigui : Daughters of Maghrebian Immigrants and their Mothers
- 著者名** (Author): 石川 洋子 / イシカワ キヨコ / Kiyoko ISHIIKAWA
- 全文テキストへのリンク** (Link to full text): 機関リポジトリ
- 他の検索サイト等へのリンク** (Link to other search sites): CiNii Books, Osaka U, 大阪大学リポジティブ
- 抄録** (Abstract): 映画監督、作家、政治家として幅広い分野で活動しているヤミナ・ベンギギはアルジェリア人の両親をもつフランス生まれ、いわゆるマグレブ系移民二世代の表現者である。戦後フランス経済を労働力として来った両親の世代、つまりイスラーム圏の旧植民地出身者のフランスにおける歴史はこれまで見とれることがなかった。ベンギギの『移民の記憶』(1997)は、戦後マグレブ移民の歴史を当事者の証言を中心に総合的に集めた記念碑的作品だが、『イスラームの女たち』(1994)と『インジャーアラー、日曜日』(2001)を含めた三部作をとおして、とりわけ表に出ることのなかった第一世代の女性たち、つまりベンギギの母世代をいよいよ描き、表象する。映像と同時にテキストも刊行されている三部作の女性像をとおして、ベンギギ自身の歴史と物語を探求する試みとなっている。Yamina Benguigui is a French film director, writer, and politician, whose parents are Algerian and immigrated to France in the early 1950s. Benguigui's film, *Mémoires d'immigrés, théâtrale maghrébin* (1997) is a remarkable masterpiece representing and testifying the history of almost a half century of Maghrebian immigrants settling in France. Benguigui's trilogy, her early works including this documentary, *Femmes d'Islam* (1994) and *Inch'Allah dimanche* (2001), stresses on representing the women of the first generation coming to France in the 1970s to join their husbands. Through these mothers' histories and stories, Benguigui attempts to quest her (and their daughters') own identity.
- 掲載誌の情報 (= 書誌情報)** (Journal information): 静岡文化芸術大学研究紀要 = Shizuoka University of Art and Culture bulletin / 静岡文化芸術大学研究紀要 = Shizuoka University of Art and Culture bulletin. 16, 1-4, 2016-03-31

こちらは、検索結果一覧のうち、1件の論文をクリックした後の詳細画面です。

画面の上から、論文名、著者名、論文にアクセスするためのリンク、この論文をさがすためのリンク、抄録（しょうろく）、掲載誌の情報、が表示されています。

抄録は、論文の内容を簡単にまとめたものなので、この部分を読んで、本文を読む必要があるかどうか判断することができます。

文献情報

論文名: SNSを利用した外国語学習についての一考察
 著者名: 野崎翔子
 掲載資料: 東京女子大学言語文化研究
 ISSN: 0918-7766
 号: 21

大阪大学で利
本文を見る

①インターネット上で
本文が見られるか

Freely Accessible Japanese Titles でフルテキストを見る GO

Available from 2007 volume: 16
 フリージャーナル / Free Journal

大阪大学の所蔵を確認する

大阪大学蔵書検索 GO ②大阪大学に
所蔵されているか

2件みつかりました。

言語文化研究[09187766]

配架場所	所蔵巻次
総合図	1-5 (1992-1995)

東京女子大学言語文化研究[09187766]

配架場所	所蔵巻次
総合図	6-20 (1997-2011)

NDL ONLINE

Osaka U. 大阪大学リゾルバ

学外から文献を取寄せる(学内者限定)

学外からの文献取寄せを申し込む GO ③学外に所蔵があるか
(取寄申込みへのリンク)

他大学から文献を取寄せるサービスです(有料)。大

ここで、CiNii Articlesに搭載されている便利な機能を紹介します。
 論文情報の下に表示されている、大阪大学リゾルバのアイコンをクリックすると、

- ・大阪大学が契約するデータベースで、本文が見られるかどうか、
- ・大阪大学で、その論文が掲載された雑誌を所蔵しているかどうか
- ・大阪大学以外で、その論文が掲載された雑誌を所蔵している図書館があるかどうか、それぞれの結果が一覧できます。

阪大で入手できない場合は、「学外からの文献取寄せを申し込む」のリンクから、論文の取り寄せ申込みをすることができます。

引用文献の読み解き方（日本語の論文）

遠藤織枝(2013) 「中国女文字・ハングル・

著者名

CiNii Articles - 日本の論文

年次

論文のタイトル

CiNii Articles - 日本の論文

平仮名：その女性性を中心に 『日本語

雑誌のタイトル

大阪大学OPAC

学』 32(11): 64-79

巻(号)

CiNii Articles - 日本の論文

ページ

では、引用文献の読み解き方、つまり、文献の書誌情報の読み解き方をおさらいしましょう。

書誌情報が分かっている論文を探す場合は、1に論文データベース、2に阪大OPACと覚えておいてください。

日本語論文ならCiNii Articlesを使って、論文のタイトルなどで検索し、ヒットした場合は本文入手または、大阪大学リゾルバで阪大の所蔵状況を確認して、掲載する雑誌を入手しましょう。CiNii Articlesでヒットしない場合は、大阪大学OPACで検索してみましょう。

OPACでは、雑誌のタイトルで検索し、ヒットした場合、所蔵状況を確認して入手しましょう。阪大に所蔵がない場合は、学外から有料で取り寄せる方法があります。附属図書館のWebサービスから申し込むことができます。

図書館にも気軽にご相談ください。一緒に他の検索方法を考えたり、取り寄せの方法を詳しく案内します。

引用文献の読み解き方（外国語の論文）



次に、外国語の文献の書誌情報の読み解き方をおさらいしましょう。書誌情報が分かっている外国語の論文を探す場合、検索するデータベースを変えます。

CiNii Articlesでは、外国語の論文は検索できませんので、ProQuestという論文データベースを使います。阪大が契約している有料の論文データベースで、外国語学部の皆さんにぜひ使っていただきたい外国語の論文データベースです。あとのスライドで詳しく説明します。

ProQuestでヒットしない場合は大阪大学OPACで雑誌のタイトルを検索し、阪大の所蔵を確認しましょう。

論文データベースやOPACでヒットしない場合にはGoogleやGoogle Scholarで論文を検索してみてもいいでしょう。本文がそのまま見られる場合もあります。

演習②CiNii Articles検索



- ▶ 授業で演習課題資料を配布された方は、ここで演習②を解いてみましょう

新聞記事を探す 紙の新聞（原紙）を読む

- ▶ 外国学図書館 1階新聞コーナーにある新聞（1年保存）
 - ▶ 朝日新聞
 - ▶ 読売新聞
 - ▶ 毎日新聞
 - ▶ 産経新聞
 - ▶ 日本経済新聞
 - ▶ 人民日報海外版
 - ▶ The Japan Times / International New York Times
- ▶ 上記以外では、[中国](#)、[ミャンマー](#)、[ロシア](#)の過去の新聞を所蔵
- ▶ 図書館Webサイト「[新聞を探す](#)」ページもご参照ください

次は、新聞記事の探し方です。

最新の情報、ある事柄の歴史的な変遷を知るには新聞記事を調べてみましょう。

紙の新聞は、外国学図書館1階新聞コーナーで読むことができます。バックナンバーは、外国学図書館で最近1年分のみ保存しています。それ以前の記事は新聞データベースで探しましょう。

【中国】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/newspaper_china/

【ミャンマー】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/newspaper_myanmar/

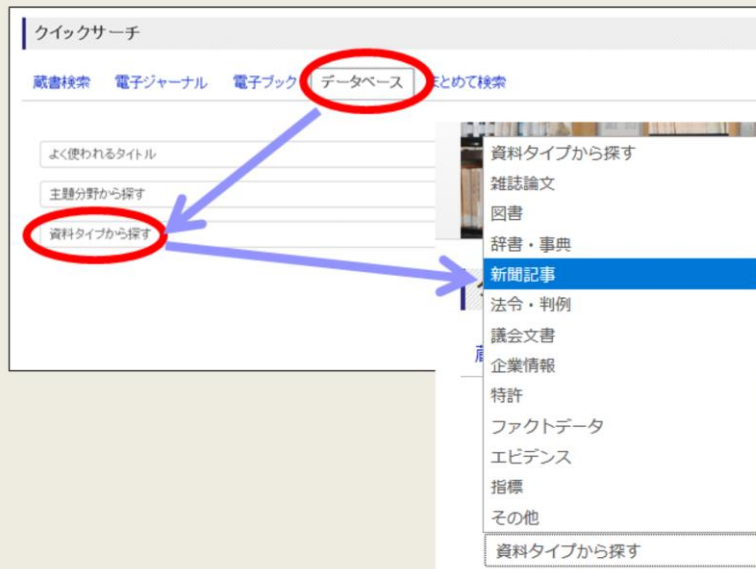
【ロシア】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/newspaper_russia/

【新聞を探す】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/research_newspaper/

大阪大学附属図書館Webサイト



図書館で保管している原紙以外にもデータベースで利用できる新聞がいくつかあります。

附属図書館Webサイトから、図のようにしてアクセスできます。

阪大契約の主な新聞データベース

	誌名	データベース名
日本の新聞	朝日新聞	聞蔵IIビジュアル ※
	読売新聞	読売新聞 ヨミダス歴史館 ※
	毎日新聞	毎日新聞 マイ索 R
	日本経済新聞	日経テレコン21 ※
海外の新聞	人民日報	People's Daily R
	New York Times	New York Times collection R
世界各国の新聞や雑誌を まとめて検索可能		Nexis Uni R Press Reader R

Rマークがあるものは、リモートアクセス（学外・自宅からの利用）可能
※朝日・読売・日経は一時的な措置によりリモートアクセス可能（2020年5月末まで）

阪大で使える主な新聞データベースを表にしました。収録内容や収録期間、検索対象を確認し、調べたい事柄によって使い分けましょう。

例えば、毎日新聞マイ索では、1872年創刊から1986年までは紙面のPDFイメージが収録されていて、検索対象は大きな事件の記事の見出しのみです。1987年以降は記事をテキストで収録しているため、記事の見出しと記事の全文をキーワードで検索できます。

キーワード検索以外には、日付検索があり、何年何月何日の新聞が読みたい、といった調べ方が可能です。

また、東京本社版や大阪本社版、地方版といった違いでも収録範囲が異なるなど、複雑なので、利用の際には各データベースのヘルプを確認しましょう。毎日新聞に掲載されていたはずなのに見つからない、という場合は、収録期間や検索対象から外れている可能性があります。データベースも万能ではありませんので、使い方には注意が必要です。

なお、Rマークがついているものは、自宅からも利用できるデータベースです。「キャンパス外から電子リソースを使う」ページからアクセスして使いましょう。

朝日、読売、日経新聞は、リモートアクセスが通常不可のところ、2020年5月末日まで利用可能となっています。

根拠となる 情報を集める

卒論のプロセスを把握する

プロセス①テーマを決める

プロセス②論点を決める

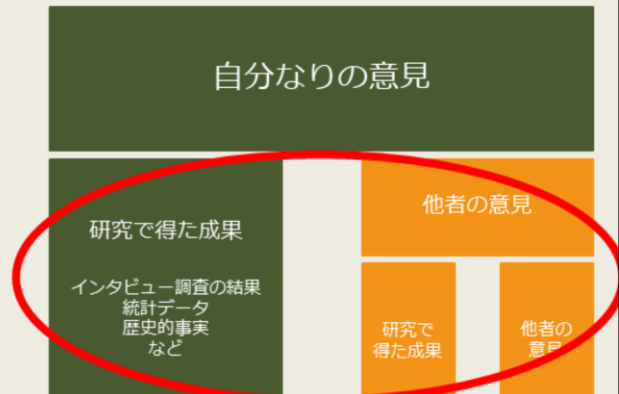
プロセス③論証する

文献を探してみる

自分の意見の根拠となる事実やデータを集め整理していきましょう

文献リストを作って文献の情報を管理しておく、読み返したり引用する際に役立ちます

テーマによっては、文献収集だけでなく実地調査が必要となるかもしれません



先行研究を調べ、論点になる問いと答えを決めたら、答えの根拠となる情報を集めて論証しましょう。テーマによっては、文献収集だけでなく、フィールドワークなどの実地調査が必要かもしれませんが、このガイダンスでは、文献収集に絞って説明します。

集めた文献の情報は、文献リストなどで管理しておく、あとで参照したり、自分の論文に引用する際に役立ちます。

実際には、思ったように情報が集まらない、問いの設定がそもそも誤っていたなど、スムーズに情報収集できないこともあるでしょう。行き詰ったら、問いに無理がないかを確認したり、指導教員に相談するなどして、軌道修正しましょう。

文献の管理について

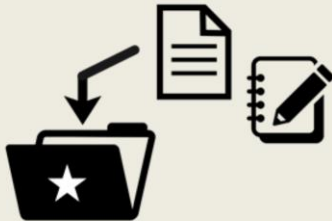
文献情報（書誌データ）を管理する

カード、ノート、エクセル、
文献管理ソフトなどで

No.	著者名	論文名	資料名	出版社	年	巻号	ページ	所在
1	AAA	Dの諸問題 について	歴史	G出版	2015	24(6)	22-36	フォルダ「★-1」
2	BBB		日本の社会問題	H書房	2011			K図書館3階360//E
3	CCC	今後のEと Fの一考察	政治と経済	I社	2014	18	1-9	フォルダ「★-2」
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	

文献そのものや自分のメモを管理する

論文コピーをファイルで、
PDFデータをパソコンで、
文献管理ソフトで、など



※文献管理ソフトについては
[こちら](#)で紹介しています

卒業論文には、文中に実際に引用した文献や自分の意見の参考にした文献を明記することが必要です。

論文に付ける文献リストの書式は専攻で定められていることがあるので、論文を仕上げる前に、指導教員に確認しておきましょう。

文献情報は、カード、ノート、エクセル、文献管理ソフトなど自分に合っている方法で管理しましょう。文献そのものやメモの管理、論文コピーのファイル管理、PDFデータのパソコン管理なども必要です。

管理するコツは、図のように、文献情報プラスその所在の情報と、文献そのものや自分のメモとを別に管理することです。

文献情報のリストを見れば、すぐに読みたい文献を探し出せるようにしておくことで卒論執筆がはかどるでしょう。

文献情報と文献そのものをまとめて管理できる、文献管理ソフトについて詳しく知りたい方は、スライドのリンク先を参考にしてください。

【こちら】（文献管理ソフトについて）

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/biblio/>

根拠情報を得るための文献検索



▶ 海外の論文も読む

- ▶ 論文データベースで調べる

阪大契約の
論文データベースを
使ってみましょう



▶ 公的な資料（統計や法令など）を集める

- ▶ 国立国会図書館「[統計の調べ方：基礎編](#)」
- ▶ 阪大図書館Webサイト「[法令を探す](#)」



▶ Web上で古い資料を見る

- ▶ 阪大図書館Webサイト「[コレクション・電子化資料](#)」
- ▶ 国立国会図書館「[二次利用がしやすいデジタルアーカイブ](#)」

自分の意見の根拠となる事実やデータ、論証を補強する他者の意見、反論すべき他者の意見を集めるためには、これまでに紹介した図書や日本語論文を探す方法に加えて、図に示した情報が参考になるでしょう。

卒業論文の資料として、公的な資料が必要な方、古い資料が必要な方は、図のリンク先も見てみてください。

この章では、海外の論文を論文データベースで探す方法を説明します。

【統計の調べ方：基礎編】

https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-102849.php

【法令を探す】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/research_hourei/

【コレクション・電子化資料】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/collection/>

【二次利用がしやすいデジタルアーカイブ】

https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/post-1044.php

(まとめ) 様々なデータベース

- CiNii Articles  free
 - 日本語の論文全般を検索できる、論文の一部はフルテキストあり
- Google Scholar  free
 - 海外を含めた論文全般を検索できる、論文の一部はフルテキストあり
- ProQuest Research Library  阪大契約
 - 人文・社会科学全般の海外論文を検索できる、論文のほぼ全てフルテキストあり
- MLA International Bibliography  阪大契約
 - 文学・言語学の海外論文を検索できる、論文の一部はフルテキストあり
- [阪大契約データベースの一覧](#)
- [専攻語別のお役立ち情報一覧](#)

ここで、論文データベースについて簡単にまとめておきます。論文を探すには、論文データベースで検索するか、文献リストから芋づる式に探す方法があります。論文データベースは数が多く、探したい論文によって、使い分けが必要になります。日本語の論文か、英語の論文か、専攻語の論文か、どの分野についての論文か、などにより、使用するデータベースは違います。このあと、ProQuest Research Library と MLA International Bibliography を例に、データベースの使い方の基本を紹介します。使い方に慣れてきたら、その他のデータベース、たとえば、阪大契約データベースの一覧や、専攻語別のお役立ち情報一覧のサイトから、自分の目的に合うものを見つけて検索してみてください。

【阪大契約データベースの一覧】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/dblist/>

【専攻語別のお役立ち情報一覧】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/links/>

有料データベースを使うのはなぜ？

無料データベースや検索エンジン（Yahoo!やGoogle）のメリット・デメリット

- ネット環境があれば誰でもどこでも使える
- 広範囲の情報を検索できる
- × 関係ない情報もたくさんヒットする（重要な情報が埋もれやすい）
- × 情報の信頼性が担保されていない

有料データベースのメリット・デメリット

- テーマに合った情報を探しやすい
- 情報の信頼性がある程度担保されている
- × 使うにはお金がかかる
- × 収録されている情報の範囲は限定的

これまでいろいろなデータベースを紹介してきました。有料データベースを使うのはなぜでしょうか。また、無料データベースを使うことはどうなのでしょう。

この図には、それぞれのメリットとデメリットを明記していますので、ご自身で考えてみてください。

プライベートで知りたいことを手軽に検索するときは、無料のデータベースや検索エンジンを使う方が手っ取り早いですね。

一方で、授業の単位取得に関係するレポートや、卒業判定がかかっている論文に使う情報を検索する場合はいかがでしょうか。

Googleは個人ブログやつぶやきレベルの情報から辞書レベルまで広範囲の情報をまとめて検索します。出てきた情報が信頼できる情報なのか、最新情報なのか、全て自分で判断する必要があります。それは、感想文なのか論文なのかを読んでから判断するようなものです。

有料データベースは最初から信頼性の高い学術情報に絞られているため、比較的安心して自分の論文にその情報を利用できます。データベースの特性を知ったうえで、場合に応じて、上手に使い分けましょう。

人文・社会科学分野の外国語論文を探す ProQuest Research Library

- ▶ Proquestについて
 - ▶ 人文・社会科学を中心に6000誌以上の洋雑誌から論文情報を収録
 - ▶ 5000誌については全文を収録
 - ▶ 同じインタフェースを使用して、阪大で契約している8種のデータベースを統合検索できる

ここから、外国語の論文データベース、ProQuest Research Libraryを紹介していきます。

人文・社会科学分野を中心に、6000誌以上の洋雑誌から論文情報を収録し、そのうち5000誌については全文を見ることができます。

また、このデータベースでは、阪大で契約している8種類のデータベースを統合検索することができます。

ProQuest Research Libraryのアクセス方法 (学内で使う場合)

大阪大学附属図書館Webサイト

The screenshot shows the library website's search interface. At the top, there are navigation tabs: 蔵書検索, 電子ジャーナル, 電子ブック, データベース, and 本とめて検索. The 'データベース' tab is circled in red. Below it is a search input field with the placeholder text 'よく使われるタイトル', which is also circled in red. A blue arrow points from the 'データベース' tab to this input field. Below the input field is a dropdown menu with the following items: よく使われるタイトル, CiNii, Scopus, Web of Science, ProQuest Research Library (highlighted in blue), 日経テレコン, 聞蔵IIビジュアル, 毎日新聞 マイ索, 読売新聞 ヨミダス歴史館, Press Reader, JapanKnowledge Lib, and KOD. To the right, a smaller inset shows the ProQuest Research Library homepage with a search bar and navigation links.

ProQuest Research Libraryは、附属図書館Webサイトから、図のようにしてアクセスできます。

ProQuest Research Libraryのアクセス方法 (自宅で使う場合)

大阪大学附属図書館Webサイト

大阪大学附属図書館
OSAKA UNIVERSITY LIBRARY

English 検索

このページの印刷画面を開く

キャンパス外から電子リソースを使う

自宅や出張先など大学の外から大阪大学が契約している電子ジャーナル、電子ブック、データベースがご利用いただけます。キャンパス内からご利用の場合は、図書館トップページの「電子ジャーナル」「データベース」各タブからご利用ください。

電子ジャーナル・電子ブックへのアクセス

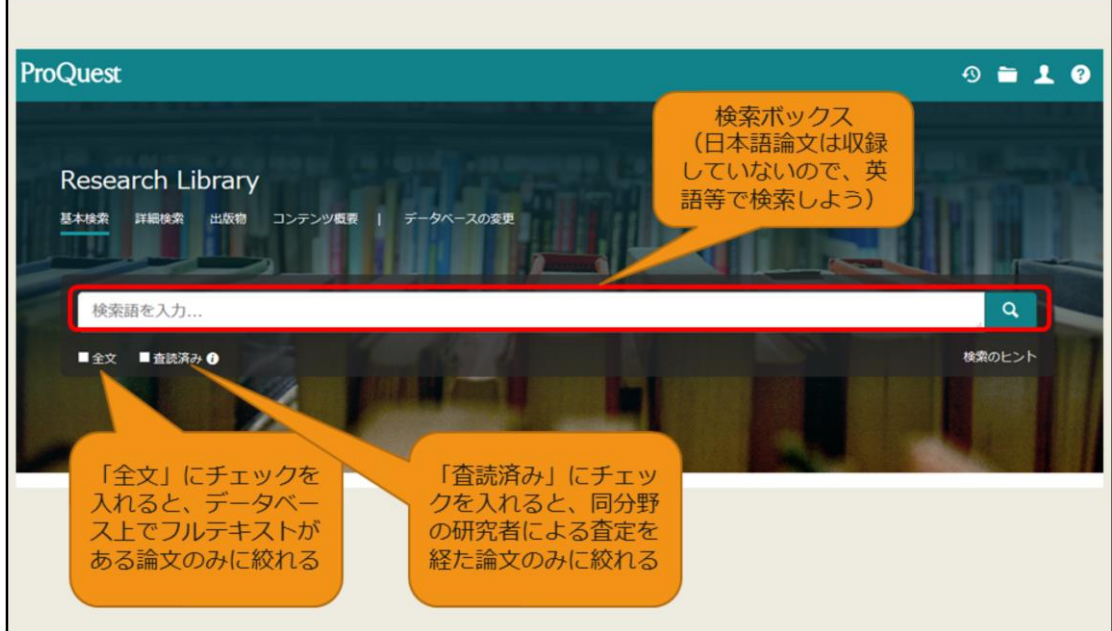
データベースへのアクセス

以下のリンクから大阪大学個人IDによる認証を経てアクセスすることができます。

- MarinLit
- MEDLINE
- MLA International
- Nexis Uni (旧 LexisNexis)
- New Palgrave Dictionary
- New York Times Database
- OED Oxford English Dictionary
- Press Reader
- Primal Pictures
- ProQuest Research Library
- Psychology and Behavior
- PTSDpubs

自宅からProQuest Research Libraryを検索する場合は、附属図書館Webサイトの「キャンパス外から電子リソースを使う」というページからアクセスしてください。

ProQuest Research Library 基本検索トップ画面



こちらが基本検索の画面です。

検索ボックスに下にチェックボックスが2つありますね。その一つの「査読（さどく）済み」にチェックを入れると、査読を経た論文のみに絞って検索することができます。

査読とは、ある学術雑誌に投稿された論文が、その雑誌に掲載し、広く世の中に発表するのにふさわしい内容かどうかを、同じ分野の研究者がチェックする仕組みのことです。

査読済みの論文は、研究者からも一定の評価を得ているということになるので、より信頼性の高い論文だと言えるでしょう。

ProQuest Research Library 検索結果一覧画面

結果 415 件

絞込みオプション

検索の変更 検索履歴 検索/アラートを保存

並べ替え条件: 関連度

絞込み

- 全文
- 査読済み

発信元のタイプ

- 学術誌 (408)
- 新聞 (1)
- 一般誌 (2)
- レポート (3)
- ワーキングペーパー (1)

出版日

1881 - 2020 (10年単位)

論文名

1-20を選択

1 Adverbial and attributive modification of Persian separable light verb constructions
FLEISCHHAUER, JENS; NEISANI, MOZIGAN,
Journal of Linguistics; Cambridge 巻 56, 号 1, (Feb 2020): 45-85.
著者名

掲載誌の情報 (= 書誌情報)

データベースに全文がない場合は大阪大学リゾルバを表示

抄録や論文の中で検索キーワードが出てくる部分をハイライト

2 Word-internal
Kahnemuyipour,
...propose that the
...modification in
...modification. He
データベースに全文がある場合は全文へのリンクを表示

3 The Application of D
Translations of News
Sharifabad, Ebrahim Da
Theory and Practice in
...study have applied these strategies of translation to English-Persian phrasal...
...Kumamoto (2009) defined phrasal verbs as a combination of a preposition and a...
...They differentiated such verbs from "free combinations in which the verb and the...

こちらは、Modification, Persian, verb というキーワードで検索した時の検索結果一覧です。検索キーワードがハイライト表示されています。

CiNii Articlesと基本は同じですが、検索結果の絞込みオプションの機能が充実しているのが特徴です。

ProQuest Research Libraryでは、全文が収録されている論文の場合は、「全文」のリンクが表示され、直接本文を見ることができます。

全文が収録されていない場合は、大阪大学リゾルバを表示していますので、他のデータベースで全文が見られないか、図書館に所蔵がないかを、簡単に調べられるようになっています。

ProQuest Research Library 検索結果詳細画面 全文がある場合

結果に戻る < 2 / 416 >

Word-internal modification: The case of the Persian comparative marker

Kahnemuyipour, Arsalan. *Canadian Journal of Linguistics*; Toronto 巻 64, 号 1, (Mar 2019): 138-145.
DOI:10.1017/cnj.2018.27

PDFをダウンロード 書誌情報 電子メール 印刷 All Options

論文名、著者名、掲載誌の情報

全文 - PDF 書誌情報/抄録 参考文献 24 ハイライト非表示

抄録
翻訳 -
Traditionally, morphemes have been divided into derivational and inflectional classes, in what is sometimes referred to as the Split Morphology Hypothesis. This squib investigates the **Persian** comparative marker.

全文
翻訳 - テキスト全文 (翻訳を押すと機械翻訳してくれる)
検索語ナビゲーション
a.kahnemuyipour

I would like to thank Jonathan Bobaljik and Alec Marantz for questions and discussions that inspired me to write this squib. Thanks also to audiences at the University of Toronto and University of Manitoba and two anonymous reviewers for helpful comments on earlier versions. All errors are mine.

1. Introduction

Traditionally, morphemes have been divided into derivational and inflectional classes, in what is sometimes referred to as the Split Morphology Hypothesis (Matthews 1972, Wasow 1977, Anderson 1982, Perlmutter 1988, Beard 1998, Stump 1998).¹ According to this split, derivational morphemes, unlike inflectional ones, change syntactic class, involve idiosyncratic meaning and do not interact with syntactic rules. In addition, it has been suggested that (productive) inflectional morphology should always be peripheral to syntactic rules. In this squib, we argue that grammatically contrasts in (1) follow from the order between inflectional morphemes (especially category changing derivational morphemes).

類似ドキュメントの案内

関連のあるアイテム

Computer-Assisted Accent Modification: A Report on Practice Effects
Ferrer, Linda J; Reid, Lewry N; Chenausky, Karen.
Topics in Language Disorders 巻 19, 号 4, (Aug 1999): 35-48.

Effect of Accent and Dialect on Employability
Carlson, Holly K; McHenry, Monica A.
Journal of Employment Counseling 巻 43, 号 2, (Jun 2006): 70.

"I Understand Everything You Say, I Just Don't Speak It": The Role of Morphology in the Comprehension of S ...
Holmes, Bonnie C.
The University of Arizona, ProQuest Dissertations Publishing, 2017. 10606027.

Blocking Effects and Analytic/synthetic

参考文献を共有するドキュメント (337)

文獻リストに掲載するスタイルで表示

こちらは検索結果一覧から、1件の論文をクリックした後の、詳細画面です。文献情報の記載などはCiNii Articlesと基本は同じです。

右上部の「書誌情報」アイコンをクリックすると、引用文献リストに掲載するスタイルを表示してくれるので、そのまま文献リストにコピーして貼り付けることができます。

論文はPDFでも入手できますが、ブラウザ上でテキスト全文でも表示されます。

そのほか、検索を補助する機能として、たとえば、関連のあるアイテムを表示してくれる機能があります。

ProQuest Research Library

検索結果詳細画面 全文がある場合

and without it any kind of attempt to convey a logical message will fail. Even in second language we can not deny its important role; it is known to both learners and instructors of English that how important vocabulary is. Without words to convey a wide range of meanings, communication is not possible in any meaningful way, no matter how successfully you mastered other areas of language. Before 1970 ,vocabulary was considered to be marginal and structure received primary attention (Carter,MacCarthy,1988).however after 1910 vocabulary received a primary attention .today, the question is how to teach vocabulary and not whether it is important or not. A number of ways have been suggested to teach new words:

- 1) Dictionary use
- 2) Keyword method
- 3) Semantic method
- 4) Translation method
- 5) Word list method
- 6) The use of cognates
- 7) Learning vocabulary through context

A number of studies support learning words in context through guessing and there have been a number of ideas and studies in support of learning vocabulary through context, there also have been a number of studies against it.

Mondrina and Wit-Deboer (1991) investigated the influence of contextual factors on guess ability and retention of words, their findings indicated that factors that were conducive to guessing were not conducive to retention. They hypothesized that if context makes meaning very clear, retention level is actually lowered when there is a strong association of context and meaning (p.262).

Jenkins, Stein and Wysocki (1984) pointed out that learning from context is still a default explanation (p.769).

The studies mentioned above and the ones which are going to be mentioned in the review of literature have supported either learning

インデックス用語で検索

↑

主題

- Teaching
- Foreign language learning
- Native languages
- Studies
- Language acquisition
- Reading comprehension
- Second language vocabulary learning
- Interlanguage
- Paraphrase
- Persian language
- English proficiency
- Translation
- English as a second language tests
- Language teaching methods
- Native language
- Private language
- Second language teachers
- English as a second language instruction

検索

ほかに、検索を補助する機能として、「インデックス用語で検索」という機能があります。

ProQuest Research Libraryでは、論文1つ1つに論文のテーマに関するインデックスが付与されています。これを使うと、論文のテーマで検索することが可能です。

この画面のインデックス用語にチェックを入れて検索をすると、最初に入れた検索キーワードは一旦リセットされ、インデックス用語を指定した再検索が行われます。

ProQuest Research Libraryには、検索履歴を保存する機能もありますので、ヘルプを参照し、便利な機能を使って検索を色々と試してみてください。

ProQuest Research Library 検索結果詳細画面 文献情報だけの場合

Adverbial and attributive modification of Persian separable light verb constructions

FLEISCHHAUER, JENS; NEISANI, MOZHGAN. *Journal of Linguistics*; Cambridge 巻 56, 号 1, (Feb 2020): 45-85.
DOI:10.1017/S0022226718000646

論文名、著者名、掲載誌の情報

書誌情報/抄録

抄録

翻訳

抄録 (翻訳を押すと機械翻訳してくれる)

大阪大学リゾルバ

全文オプション

Osaka U SFX

関連のあるアイテム

Deriving the meaning of light verb constructions – a frame account of German *stehen* 'stand'

Fleischhauer, Jens; Gemersschlag, Thomas.

Yearbook of the German Cognitive Linguistics Association; Berlin 巻 7, 号 1, (2019): 137-156.

The semantics of modification: Adjectives, nouns, and order

Leffel, Timothy James.

New York University, ProQuest Dissertations Publishing, 2014. 366517.

On the Argument Structure of Zi-Verbs in Japanese: Description and

主観

Adjectives;
Persian language;
Word meaning;
Preverbs;
Light verbs;
Adverbials;
Semantics;

関連主題 (テーマ) で検索できる

類似ドキュメントの案内

こちらは文献情報だけの場合の詳細画面です。

ProQuest Research Libraryは論文全文が多く収録されているデータベースですが、論文が入手できない場合ももちろんあります。入手できない場合には、関連のあるアイテムから類似した資料を探す、あるいは、抄録を見て、この論文がどうしても必要であれば、大阪大学リゾルバのアイコンから、阪大図書館に所蔵があるかどうかを調べる、という手順になります。

ProQuest Research Library 統合検索をする

Research Library

基本検索 詳細検索 出版物 参照 コンテンツ概要 **データベースの変更** 検索するデータベースを変更

データベースを選択
ヒント: データベースのショートカットを追加。一つあるいはより多くの気になるデータベースを選択することが容易。
検索するデータベースを選択し、[選択したデータベースを使用] をクリックして検索フォームに移動します。 [選択済みデータベースを使用](#)

簡易表示 | 詳細表示 アルファベット順に表示する | 主題で表示する

注 以下の説明で明記される以外ではデータベースの内容は基本的に英語です。

すべて選択 全文を含む トライアル・一定期間のみ

- Coronavirus Research Database 1
A free health and medical research database for openly available content related to the COVID-19 outbreak.
主題分野: 未割り当て
- Ebook Central 1
Multidisciplinary - e-books
主題分野: 未割り当て
- ERIC (1966 - 現在) 1
Education and related topics - journal articles, conferences, meetings, government documents, theses, dissertations, reports, audiovisual media, bibliographies, directories, books and monographs
主題分野: 社会科学
タイトルリストを表示
- Health & Medical Collection 1
Clinical and biomedical, consumer health, health administration, etc. - journal articles
主題分野: 医学 & 薬学
タイトルリストを表示
- International Bibliography of Art (IBA) 1
History of art, decorative arts, museum studies, conservation - journal articles, monographs, exhibition catalogues and more
主題分野: 芸術
タイトルリストを表示
- MEDLINE (1946 - 現在) 1
Biomedical sciences - journal articles
主題分野: サイエンス & テクノロジー, 医学 & 薬学
タイトルリストを表示
- New York Times (1980 - 現在) 1

ERIC (社会科学分野、教育分野)
New York Times Collection (英字新聞)
IBA (芸術分野) などのデータベースを選択、また、解除

ProQuestは、Research Library のほかに、他のデータベースを統合検索できる機能があります。

教育分野のERIC、英字新聞のNew York Times Collection, 芸術分野のIBAなどは外国語学部の学生の皆さんは使用することがあるかもしれません。

2020年5月現在、トライアルで使用できるデータベースが増えています。

検索対象が多くなると、検索結果も膨大になりますので、それを頭に置いて、上手に使ってください。

外国語の論文検索のコツ

フレーズ検索

- 「わらべ唄 (nursery song) 」について知りたいのに、関係ない文献「nursery....song....」などが出てきてしまう
- ⇒二重引用符「" ”」で括る (例："nursery song")

部分一致・あいまい検索

- 単数形と複数形をまとめて検索したい、語尾変化にも対応したい
- ⇒複数の文字なら「*」を付ける (例：gene*→gene genes genetic など)
- ⇒一文字なら「?」を付ける (例：wom?n→woman women など)

※上記はProquest Reseach Libraryの例です。
データベースによって仕組みが異なるので、使い方やヘルプを確認しましょう。

外国語論文を検索する時のコツを紹介します。

フレーズ検索は、ぜひ知っておいてください。ProQuestは膨大な量の論文情報を収録しているので、知っているのと知らないのとでは効率に大きな差が出てきます。

他のデータベースでは、使用する記号が異なる場合があるため、思ったような検索結果が出ない場合は、ヘルプを参照してください。

演習③ProQuest Research Library検索



- ▶ 授業で演習課題資料を配布された方は、ここで演習③を解いてみましょう

言語学分野の外国語論文を探す MLA International Bibliography

- ▶ MLAについて
 - ▶ 言語学に関する雑誌、書籍、学位論文など4,400誌以上を収録
 - ▶ 収録文献データは世界各国の文学、言語学、民俗学分野など幅広く240万件以上
 - ▶ キーワードや主題（テーマ）で検索できる

次に、文学、言語学、民俗学分野の海外論文データベース、MLA International Bibliography を紹介します。
この分野の海外論文を探したい方は、ぜひ使ってみましょう。

MLA International Bibliographyの アクセス方法（学内で使う場合）

大阪大学附属図書館Webサイト

クイックサーチ

データベース

MLA International Bibliography を選択

「すべてのタイトルを表示」を選択

MLA International Bibliography

約1180万件

世界各国の文学、言語学、及び学際分野の文献をキーワードで検索できます。

英語 1926～ 約200万件

Nexis Uni (旧 LexisNexis Academic)

世界各国の新聞、雑誌記事の他、ビジネス誌、米国判例、医業関連ジャーナル、人物情報等15,000以上の情報源
して読むことができます。

★クイック・リファレンス・ガイド

Searching MLA International Bibliography Choose Databases

Search Clear

AND Select a Field (optio... Search Clear

AND Select a Field (optio... Search History

Search Options

MLA International Bibliography は、附属図書館Webサイトから、図のよう
にしてアクセスできます。

MLA International Bibliographyの アクセス方法（自宅でする場合）

大阪大学附属図書館Webサイト

附属図書館
CITY LIBRARY

English サイト内を検索 このページの印刷画面を開く

キャンパス外から電子リソースを使う

自宅や出張先など大学の外から大阪大学が契約している電子ジャーナル、電子ブック、データベースを利用することができます。キャンパス内から利用の場合は、図書館トップページの「電子ジャーナル」「電子ブック」「データベース」各タブからご利用ください。

クイックリンク

電子ブック データベース まとめて検索

電子ジャーナル・電子ブックへのアクセス

タイトルから探す

検索

提供元別リストから探す

提供元別リスト

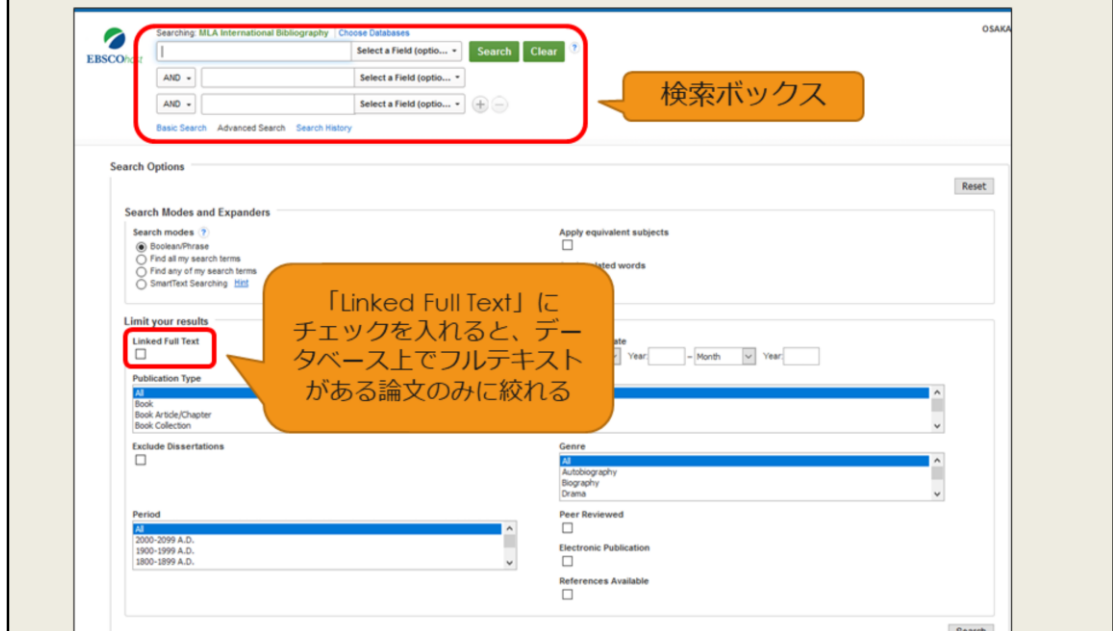
データベースへのアクセス

以下のリンクから大阪大学個人IDによる認証を経てアクセスすることができます。

- MarinLit
- MEDLINE
- **MLA International Bibliography**
- Nexis Uni (旧 LexisNexis Academic)
- New Palgrave Dictionary of Economics and Finance
- New York Times collection
- OED Oxford English Dictionary
- Press Reader
- Primal Pictures
- ProQuest プラットフォーム
- ProQuest Research Library
- Psychology and Behavioral Science
- PTSDpubs

自宅からMLA International bibliography を検索する場合は、附属図書館Webサイトの「キャンパス外から電子リソースを使う」というページからアクセスしてください。

MLA International Bibliography 検索トップ画面



こちらはMLA International bibliographyの基本的な検索画面です。AND検索の場合は、一つの検索ボックスにスペースでつないで複数のキーワードを入力しても良いですが、せっかく検索ボックスがいくつも用意されているので、一つのボックスに一つのキーワードで検索してみましょう。プルダウンからANDやORを指定して検索することができますので、自分で論理演算子を入力する必要がありません。

また、検索ボックスの右側のプルダウンでは、著者名や論文のタイトル、抄録など、キーワードの検索対象を選ぶことができます。誰々が書いた論文だけを探したい、という場合など、検索の目的に応じて上手に活用しましょう。

MLA International Bibliography 検索結果一覧画面

64

MLA International Bibliography 検索結果一覧画面

Refine Results

Search Results: 11 - 20 of 54,012

Relevance Page Options Share

論文名

1 **Ceremonies and Time in Shakespeare**

By: Findlay, Alison. **Shakespeare** ; 2019 Sept, 15(3) 223-232. Taylor & Francis (journal article)

著者名、掲載誌の情報

Subjects: English literature; 1500-1599; **Shakespeare**, William; comedy; All's Well That Ends Well; history; Richard III; romance; The Winter's Tale; temporal relations; ceremonies

この論文の主題 (テーマ)

絞込みオプション

Limit To

Linked Full Text

Exclude Dissertations

Scholarly (Peer Reviewed) Journals

1884 Publication Date 2020

Show More

Source Types

All Results

Academic Journals (33,970)

12. **"All in a Garden Green": Shakespeare's Staging of Garden Imagery**

By: Solomon, Deborah. **Ben Jonson Journal: Literary Contexts in the Age of Elizabeth, James and Charles** ; 2019 Nov, 26(2) 227-252. Edinburgh University Press (journal article)

Subjects: English literature; 1500-1599; **Shakespeare**, William; drama; staging; garden imagery; theatrical production

13. **Single or Return, Ladies? The Politics of Translating and Publishing Heine on Shakespeare**

By: Ingelbien, Raphaël. **Comparative Critical Studies** ; 2019 Oct, 16(2-3) 181-200. Edinburgh University Press (journal article)

こちらはShakespeareというキーワードで検索した時の検索結果一覧の画面です。

文献の情報や大阪大学リゾルバ、絞り込み機能など、ProQuest Research Libraryとよく似ていますね。

絞り込みの例として、論文が出た年を指定することもできますので、最近の5年間で出た新しい論文のみに絞る、といったことも可能です。

MLA International Bibliography 検索結果詳細画面

論文名 Ceremonies and Time in Shakespeare

著者名 Authors: Findlay, Alison

Affiliations: Lancaster University

掲載誌の情報 Source: Shakespeare, 2019 Sept; 15(3): 223-232. [Journal Detail] Taylor & Francis

Notes: In special issue: "Experiencing Time in Shakespeare's Theatre." English summary

Peer Reviewed: Yes

ISSN: 1745-0918
1745-0926 (electronic)

関連主題 (テーマ) で検索できる National Literature Classification: Subject Literature: English literature
Period: 1500-1599
Primary Subject Author: Shakespeare, William (1564-1616)
Primary Subject Work: All's Well That Ends Well (1603); Richard III (1592); The Winter's Tale (1610-1611)
Genre: comedy; history; romance

Subject Terms: treatment of temporal relations; of ceremonies

Document Information: Publication Type: journal article
Language of Publication: English
Update Code: 20192019123001

抄録 Abstract: This essay considers some moments in Shakespeare's texts which exemplify the Janus-faced quality of ceremonies: their enactment in the present looking backwards to past traditions and forwards to inaugurate new social relations. The argument draws on Victor Turner's theorization of ritual as a means that aims above to 'reinvigorate' that which is dead...

引用文献リストに掲載するスタイルで表示

Cite

検索結果一覧から、1件の論文をクリックした後の、詳細画面です。文献情報の記載などは、CiNii Articlesと同じです。

このデータベースは、MLA発行の雑誌掲載論文、学位論文、書籍のINDEX・抄録データベースで、全文はほとんど収録されていませんが、大阪大学で契約するデータベースと連携し、そこから全文へのリンクをしているのが特徴です。読みたいと思う論文が見つかったら、大阪大学リゾルバをクリックして入手方法を調べましょう。

また、全文へのリンクがある場合には、右側の「Cite」をクリックすると、文献リストに掲載するスタイルを表示してくれます。

卒論への一歩 を踏み出す

卒論のプロセスを把握する

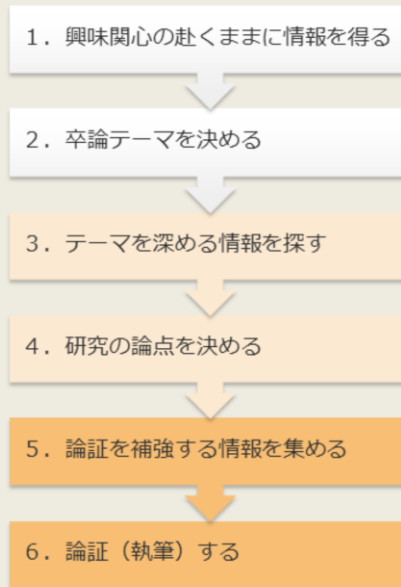
プロセス①テーマを決める

プロセス②論点を決める

プロセス③論証する

文献を探してみる

まずは自分の現在地を把握しましょう
あなたは次のプロセスのどの段階にいますか？



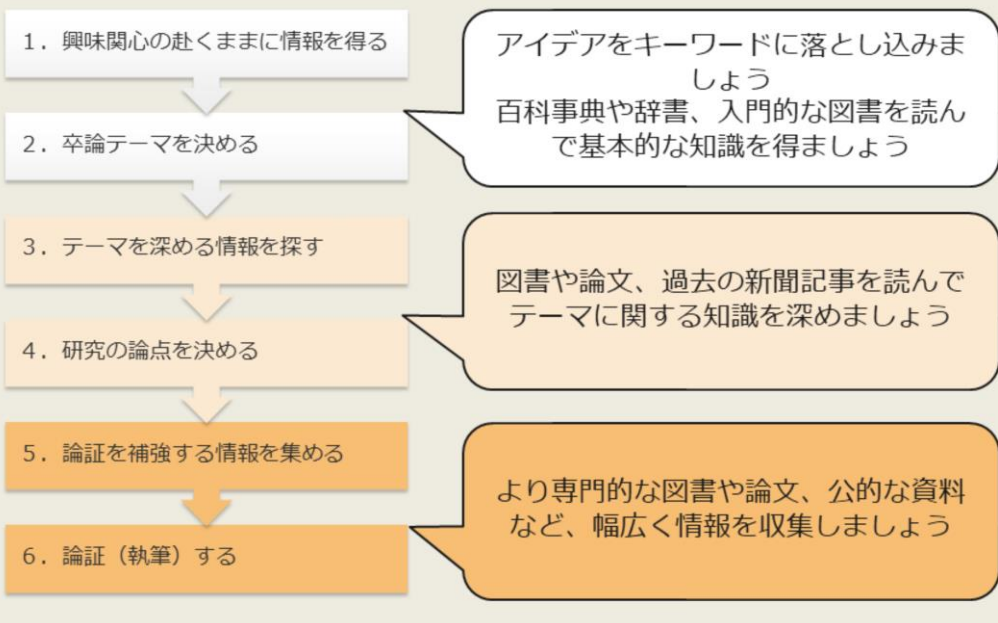
これまで、卒業論文のプロセスに沿って、目的に合った文献を探す方法を紹介してきました。ここからは、自分自身の卒業論文のプロセスを進めましょう。

今、あなたはどのプロセスにいますでしょうか。

卒論テーマを決める段階でしょうか、研究の論点を決める段階でしょうか、論証する段階でしょうか。

あなたがいるプロセスでは、次にどんな文献を読む必要がありますか？

次に進むためにどんな文献が必要ですか？



各プロセスで、どんな文献を読む必要があるかを図に示してみました。
あなたが今いるプロセスについて、確認してみましょう。
その文献を探すために、どのツールを使い、どうやって入手しますか？

どうやって文献を探しますか？

このガイダンス資料中のヒント

- 事典類：[7ページ](#)
- 図書：[9ページ](#)～
- 論文：[47ページ](#)
- 新聞：[43ページ](#)
- 公的な資料など：[46ページ](#)

実際に文献を入手し
読んでみましょう

文献の調べ方・探し方の案内サイト

- 大阪大学附属図書館Webサイト「[しらべる](#)」
- 国立国会図書館「[リサーチ・ナビ](#)」
 - 幅広いジャンルの調べ方が掲載されています
- 国立国会図書館「[Asia Links](#)」
 - アジア地域の情報の調べ方を国別・テーマ別に探せます

どうやって文献を探すか、このガイダンス資料で紹介してきましたので、分からなくなったら、リンクをクリックしてみてください。

また、附属図書館Webサイトのほか、国立国会図書館のWebサイトでは幅広いジャンルの調べ方が「リサーチ・ナビ」に掲載されています。

同じく国立国会図書館においては、アジア地域の情報の調べ方に特化して、国別、テーマ別に探せる「Asia Links」という便利なサイトも公開されています。

情報の信頼性も高く、外国語学部の学生さんには便利なサイトだと思いますので、ぜひのぞいてみてください。

【しらべる】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/>

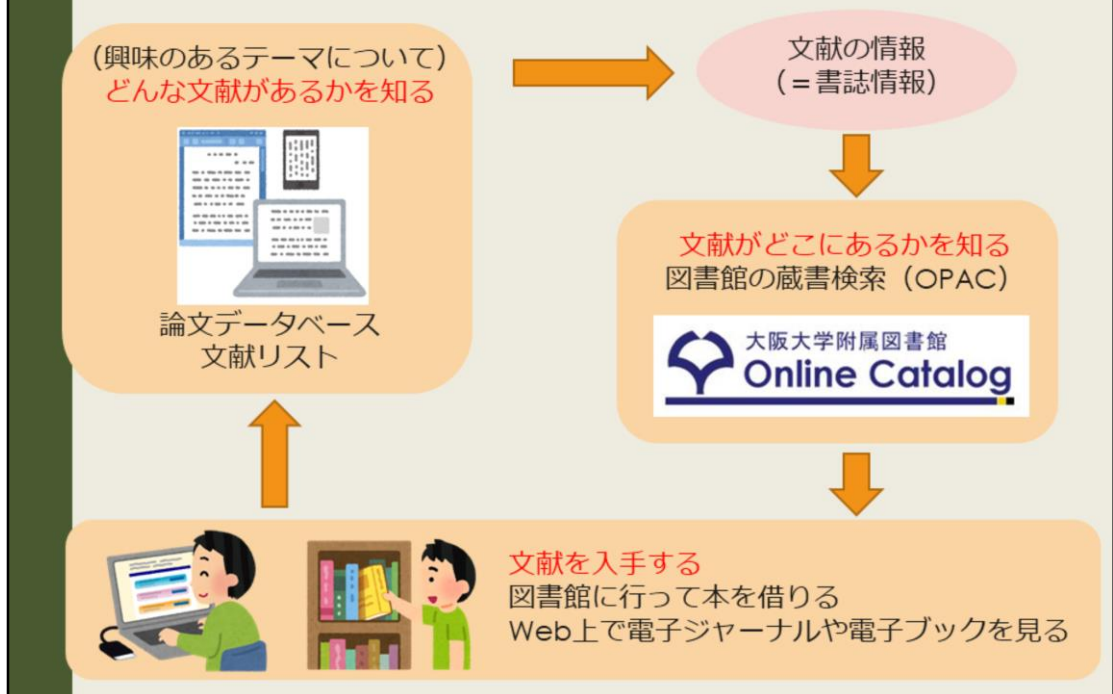
【リサーチ・ナビ】

<https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>

【Asia Links】

<https://rnavi.ndl.go.jp/asia/entry/asialinks.php>

(まとめ) 文献の探し方



ここで、文献の探し方の基本的な流れを図で振り返りましょう。卒論プロセスのどの段階でも、基本は同じです。

まずは、世の中に「どんな文献があるかを知る」ことから始まります。先生から授業中に紹介してもらったり、教科書に参考文献として書かれていたり、論文データベースなど論文を探すためのツールを使ったりして、文献の情報、「タイトル・著者・刊行年」といった書誌情報を手に入れます。

次に、その文献を実際に読むには、文献がどこにあるかを調べなければいけません。無料で入手できる方法としては、阪大OPAC、阪大契約データベース、インターネットのフリーアクセス、などがあります。有料でしか入手できない場合は、学外から取り寄せる方法、自分で購入する方法、と調べを進めてみましょう。

文献を探すことに慣れてくると、この文献はここにありそうだ、という見当がついてくるでしょう。

図書館は文献入手をサポートします

▶ 文献複写（コピーの取り寄せ）

- 到着まで：3日～1週間程度
- 費用：コピー代（白黒1枚40円～60円くらい）
 - + 送料
 - + 手数料がかかる場合もある

※著作権法で認められた範囲の複写に限ります。

※複数著者で構成された図書（論文集など）は、一人の著者が担当した部分が一つの著作物に該当すると解釈されるため、担当部分全てのコピーはできません。

著作権法 第三十一条 第一項

- 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあつては、その全部。第三項において同じ。）の複製物を一人につき一部提供する場合

読みたい文献があるけれど、大阪大学では所蔵していない・・・そんなときも図書館はサポートします。

雑誌論文・記事はコピーを取り寄せることができます。コピー代と送料がかかります。

図書は、著作権法第31条により、全文コピーを取り寄せることができません。全ページの半分以下、であれば取り寄せ可能です。

また、図書の場合は、次で紹介するように、現物を取り寄せて借りることも可能です。

図書館は文献入手をサポートします

▶ 現物貸借（図書現物の取り寄せ）

- 到着まで：3日～1週間程度
- 貸出期間：到着してから2～3週間程度
- 費用：往復の送料（1,200円～2,000円くらい）
+手数料がかかる場合もある

※館内利用のみ（自宅への持ち帰り不可）などの条件がつく場合があります。

※雑誌、参考図書、古い資料などは基本的に借りることができません。

利用時の注意事項

- 文献複写や現物貸借は、他大学や他機関との相互協力で成り立っている制度です。借り受けた資料は大切に扱うようお願いします。汚れたり破れたりした場合は弁償となる場合があります。



図書現物は所蔵する大学図書館などから取り寄せることができます。おおよそ2週間から3週間程度、借りて読むことができます。

基本的には、自宅への持ち帰りが可能な条件で取り寄せを手配しますが、所蔵する図書館の方針によっては、外国学図書館内での利用に限定される場合もあります。

図書の取り寄せには往復の送料がかかります。雑誌は現物を借りることができませんので、該当ページのコピーを取り寄せる方法になります。


文献複写・現物貸借の申し込み方法

- OPACでヒットした場合

現物の取り寄せは 、コピーの取り寄せは  から申し込み可能

- データベースで大阪大学リゾルバがある場合

 [大阪大学リゾルバ](#) をクリックして、

[学外からの文献取寄せ](#) を申し込む  から申し込み可能

- それ以外の場合

WebサイトやOPACの「Webサービス」から申し込み可能



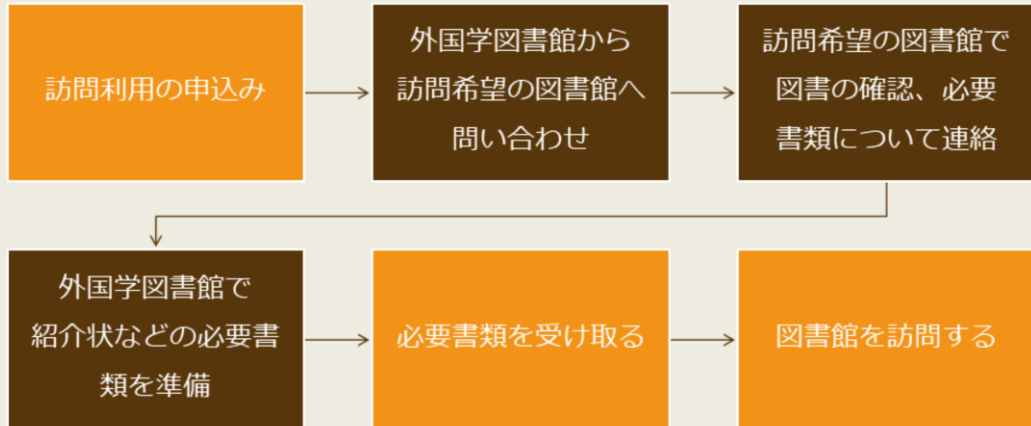
文献複写、現物貸借を申し込む場合は、阪大OPAC、大阪大学リゾルバ、附属図書館WebサイトのWebサービスからインターネットで申し込むことができます。

カウンターでは、紙の申込書を用意していますので、相談に来られた際に、その場で申し込むこともできます。

図書館は文献入手をサポートします

▶ 訪問利用（読みたい資料がある図書館へ行く）

- 手続き（問い合わせや紹介状作成）には、3日～1週間程度かかります。
- 早めに外国学図書館へご相談ください。
- [関西大学](#)、[みんぱく図書室](#)は手続きなしに訪問利用が可能です。



つぎに、学内で入手できない資料を、学外の所蔵館へ出向いて閲覧・複写することができる、訪問利用という方法を紹介します。事前の問い合わせや紹介状が必要な大学図書館がありますので、訪問希望日の3日前までに、余裕をもって外国学図書館にお申し込みください。

阪大生の皆さんは、関西大学の図書館は、協定により、事前問い合わせが不要なく、個人で登録すれば貸出が可能です。また、みんぱく図書室は、一般にひろく公開されている図書室ですので、事前問い合わせは必要ありません。ただ、いずれの図書館も、利用登録には身分証明書が必要なので、訪問する時にはリンク先の利用案内をよく確認しましょう。

【関西大学】

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/houmon/#kansaiuniv>

【みんぱく図書室】

<https://www.minpaku.ac.jp/research/sharing/library/information/general>

大学院生に気軽に相談できます



▶ ラーニング・サポーター（LS）

- 学生の皆さんの学びをサポートする大学院生スタッフです
- 図書館1階「るくす」にてお待ちしております
- スケジュールは[こちら](#)をご覧ください。

サポート内容

- 学習相談
- レポート作成のアドバイス（原稿の日本語チェックにも対応）
- パソコンの操作法の説明
- 各種ミニ講習会の実施 など

外国学図書館では、大学院生のラーニング・サポーターが、1階るくすで、学生の皆さんの学びをサポートしています。文献の探し方、入手方法が分からない場合には、ラーニング・サポーターにも、お気軽にご相談ください。

【[こちら](#)】（LSスケジュール）

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/ta/#activity>

国立国会図書館を使う

▶ 国立国会図書館について

- ▶ 日本で唯一の国立図書館であり、国内最大の蔵書数を誇る
- ▶ 東京本館、国際こども図書館、関西館の3館がある
- ▶ 大阪大学から一番近いのは京都府精華町にある関西館
- ▶ 満18歳以上なら誰でも利用可能だが、個人への貸出サービスはしていない

▶ 来館すれば利用できるサービス

- ▶ 所蔵資料の閲覧・複写・相談
- ▶ 豊富な電子ジャーナルやデータベースの利用

▶ 遠隔で利用できるサービス

- ▶ 遠隔複写サービス
- ▶ 図書館間貸出し

ここからは、国立国会図書館の使い方を案内します。

大阪大学から一番近い関西館は、大阪市内から1時間半ほどで行ける距離にあり、学術書を中心に220万冊以上、洋雑誌は関西館が主な所蔵館となり、約4万5000タイトルを所蔵しています。ほかに、アジア関係資料と国内博士論文を所蔵しています。

個人への貸し出しサービスは行っていませんが、来館することで利用できるサービスがたくさんあります。電子ジャーナルやデータベースも豊富で、その場でコピーを入手できます。

また、来館しなくても遠隔で利用できるサービスもありますので、次のスライドで詳しく紹介します。

【国立国会図書館】

<https://www.ndl.go.jp/>

【電子ジャーナルやデータベース】

https://www.ndl.go.jp/jp/use/e_journals/index.html

国立国会図書館を使う 遠隔で利用できるサービス

- ▶ 遠隔複写サービス（コピーの取り寄せ）
 - ▶ 申込み方法は2通り
 - ▶ 外国学図書館経由の文献複写サービスで申込み
 - ▶ 「[インターネット限定登録利用者](#)」になって個人で申込み
 - ▶ コピー代、送料がかかる

- ▶ 図書館間貸出し（外国学図書館への図書を取り寄せ）
 - ▶ 外国学図書館経由の現物貸借サービスで申込み（個人申込は不可）
 - ▶ 外国学図書館内で閲覧できる、自宅等への持ち帰りは不可
 - ▶ 片道の送料がかかる（1,000円程度）

遠隔で利用できる国立国会図書館のサービスは、遠隔複写サービスと図書館間貸出です。

遠隔複写サービスは国立国会図書館が所蔵する資料のコピーを取り寄せるサービスです。個人でも申し込みが可能です。詳細はリンク先をご覧ください。

図書館間貸出は、国立国会図書館の所蔵図書を外国学図書館に取り寄せ、館内で閲覧できるサービスです。こちらは個人での申し込みはできませんので、外国学図書館のカウンターでお申込みください。

【[インターネット限定登録利用者](#)】

<https://www.ndl.go.jp/jp/registration/index.html>

国立国会図書館を使う デジタル化された資料を見る

▶ 国立国会図書館デジタルコレクション

- ▶ 国立国会図書館が収集・保存しているデジタル化資料を公開。
1968(昭和43)年までに受入れた戦前期・戦後期刊行図書、議会資料、法令資料及び児童書、江戸期以前の和古書、清代以前の漢籍等。

- ▶ 公開範囲は三段階

図書 や **電子書籍・電子雑誌** ……「インターネット公開」 誰でも閲覧可。

国立国会図書館/図書館送信限定 ……「図書館送信資料」

総合図書館と外国学図書館の専用PCで
平日9時-17時に閲覧可。
印刷は有料で申込みが必要。

国立国会図書館限定 ……「国立国会図書館内限定」

国立国会図書館のPCで閲覧可。
文献複写での取り寄せも可。

最後に、国立国会図書館がインターネット上で公開している、デジタルコレクションを紹介します。戦前の資料、江戸期以前の和古書、清代以前の漢籍等、著作権の切れた古い資料は公開され、インターネット上で閲覧できる場合が多いです。

誰でも閲覧可能なインターネット公開の資料、
外国学図書館の専用パソコンで閲覧可能な図書館送信限定の資料、
国立国会図書館でのみ閲覧可能な資料の3種類の公開範囲があります。
限定資料であっても、検索自体は自宅からでもできますので、ぜひ調べてみましょう。

【国立国会図書館デジタルコレクション】

<https://dl.ndl.go.jp/>

演習④ 次の一歩



- 問題 1.
- 卒業論文に向けて、あなたが次に読む文献を1つ挙げてください。文献の情報は下記を参考にできるだけ詳しく書いてください。
 - 図書の場合はタイトル、著者名、出版年、出版社など。
 - 論文の場合は論文のタイトル、論文の著者名、雑誌のタイトル、巻号、ページなど。
- 問題 2.
- 上記で挙げた文献の入手方法を下記を参考に簡単に述べてください。
 - ○○図書館の○階の請求記号○○にあるので借りる。
 - 電子ジャーナルでヒットしたのでPDFをダウンロードする。
 - ○○図書館に紙の雑誌があるのでコピーする。
 - 大阪大学の図書館には所蔵していないのでコピーの取り寄せを申し込む。

それではここで最後の演習です。この問題には解説はありません。自力で解いてみましょう。

図書館は皆さんの学習・研究を応援しています。
質問がありましたらお気軽にどうぞ。

外国学図書館 利用支援担当

メール：ml-cir@library.osaka-u.ac.jp

電話：072-730-5126（平日9:00-17:00）

79

お疲れ様でした！

これで、外国学図書館の論文検索ガイダンスは終了です。お疲れさまでした。
図書館は皆さんの学習・研究を応援しています。お気軽にご質問ください。